



インタラクティブフラット パネル

ユーザーマニュアル

法的情報

この文書について

- 本ドキュメントには、製品の使用および管理に関する説明が含まれています。以下に掲載されている写真、図表、画像、およびその他すべての情報は、説明および解説のみを目的としています。
- 本ドキュメントに記載されている情報は、ファームウェアの更新その他の理由により、予告なく変更される場合があります。最新バージョンのドキュメントは、Hikvision ウェブサイト (<https://www.hikvision.com>) でご確認ください。別段の合意がない限り、杭州 Hikvision デジタルテクノロジー株式会社またはその関連会社（以下「Hikvision」）は、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証も行いません。
- 本製品をサポートする訓練を受けた専門家の指導と支援のもとで、この文書をご利用ください。

本製品について

- 本製品は、購入された国または地域でのみアフターサービスサポートを受けることができます。
- お選びいただいた製品が映像製品の場合は、以下のQRコードをスキャンして「映像製品の使用に関する取り組み」を入手し、よくお読みください。



知的財産権に関する承諾

- 本ドキュメントに記載された製品に具現化された技術に関連する著作権および / または特許はHikvisionが所有しており、これには第三者から取得したライセンスが含まれる場合があります。
- 本文書のテキスト、画像、グラフィック等を含むいかなる部分もHikvisionに帰属します。書面による許可なく、本文書の全部または一部をいかなる手段によっても抜粋、複製、翻訳、改変することはできません。
- **HIKVISION** およびその他の Hikvision の商標およびロゴは、各管轄区域において Hikvision の財産です。
- 記載されているその他の商標およびロゴは、それぞれの所有者に帰属します。



HDMIトレードドレスおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

法的免責事項

- 適用される法律で認められる最大限の範囲において、本書および記載されている製品（そのハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）は、「現状有姿のまま」かつ「すべての欠陥およびエラーを含むまま」提供されます。HIKVISIONは、商品性、満足のいく品質、特定目的への適合性を含むがこれらに限定されない、明示的または黙示的な保証を行いません。本製品の使用はお客様の自己責任で行ってください。いかなる場合においても、HIKVISIONは、特別損害、結果的損害、付随的損害、間接損害（事業利益の損失、事業中断、データの損失、システムの破損、または文書の損失を含むがこれらに限定されない損害について、契約違反、不法行為（過失を含む）、製造物責任、その他いかなる法的根拠に基づくものであっても、本製品の使用に関連して、HIKVISIONがそのような損害の可能性について通知されていた場合であっても、一切の責任を負いません。

または損失について、一切の責任を負いません。

- お客様は、インターネットの性質上、固有のセキュリティリスクが存在することを認識し、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス感染、その他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常動作、プライバシー漏洩、その他の損害について一切の責任を負わないことを認めるものとします。ただし、必要に応じてHIKVISIONは適時に技術サポートを提供します。
- お客様は、本製品を適用されるすべての法令に準拠して使用することに同意し、お客様の使用が適用される法令に準拠していることを確認する責任はお客様にあります。特に、お客様は、パブリシティ権、知的財産権、データ保護およびその他のプライバシー権を含むがこれらに限定されない、第三者の権利を侵害しない方法で本製品を使用することについて責任を負います。お客様は、大量破壊兵器の開発または製造、化学兵器または生物兵器の開発または製造、核爆発物または安全でない核燃料サイクルに関連する文脈における活動、または人権侵害を支援する活動を含むがこれらに限定されない。
- 本文書と適用される法律との間に矛盾が生じた場合は、後者が優先する。

© 杭州海康威視数字技術有限公司。無断複写 転載を禁止します。




はじめに

適用モデル

本マニュアルは、インタラクティブフラットパネルに適用されます。

記号の定義

この文書で使用される記号は以下のように定義されます。

記号	説明
 Note	本文の重要な点を強調または補足する追加情報を提供します。
 Caution	回避しなければ、機器の損傷、データの損失、性能の低下、または予期せぬ結果をもたらす可能性のある、潜在的に危険な状況を示します。
 Danger	回避しなければ死亡または重傷につながる高いリスクの危険を示します。

本マニュアルで取り扱うすべての製品は、製品セキュリティレッドライン V4 に基づいて開発されています。

目次

第1章 はじめに	1
第2章 操作および保守上の注意事項	2
2.1 電源ケーブルの使用	3
2.2 清掃とメンテナンス	3
第3章 接続と設置	4
3.1 設置上の注意	4
3.2 外観とインターフェース	4
3.2.1 フロントパネルとインターフェース	4
3.2.2 メインボード上のインターフェース	6
3.2.3 パーソナルコンピュータ（PC）への接続	6
3.3 内部コンピュータの設置	7
3.4 取り付け	8
第4章 起動とシャットダウン	11
4.1 デバイスの起動	11
4.1.1 コンピューターボックスなしでインストール	11
4.1.2 コンピューターボックス付きでインストール	11
4.2 エコモード	11
4.3 シャットダウン	11
第5章 メニュー操作	13
5.1 基本操作	13
5.2 システムバー	14
5.3 入力ソース	15
5.4 ネットワーク	15
5.5 コントロールメニュー	15
5.5.1 注記	16
5.5.2 スクリーンショット	18
5.5.3 投票機	18
5.5.4 ランダム選択	20
5.6 カメラ機能	22
5.6.1 カメラ	22
5.6.2 動画	22
5.6.3 設定	23
第6章 システム設定	26
6.1 ネットワーク設定	26
6.1.1 有線ネットワーク設定	26
6.1.2 ワイヤレスネットワーク設定	27
6.1.3 WLAN ホットスポット設定	28
6.2 ディスプレイ設定	29
6.3 オーディオ設定	30
6.4 言語と入力設定	31
6.5 日付と時刻の設定	31
6.6 アプリケーション管理	32
6.7 Bluetooth	33
6.8 補助機能	33
6.8.1 インテリジェント温度制御	33
6.8.2 スマートリモコン	34

6.9 詳細設定.....	34
6.10 ユーザー設定.....	38
6.11 デバイス情報.....	39
6.12 ネガティブスクリーン.....	39
第7章 インテリジェントアプリケーション.....	41
7.1 FileBrowser.....	41
7.2 Browser.....	42
7.3 ホワイトボード.....	42
7.3.1 ツールバーの基本操作.....	43
7.3.2 その他のツール.....	44
7.3.3 ホワイトボードの管理.....	48
7.3.4 ホワイトボードを保存.....	48
7.3.5 ホワイトボードを共有.....	49
7.3.6 その他の機能.....	50
7.4 WonderCastServer.....	51
7.4.1 NFC スクリーンミラーリング.....	51
7.4.2 その他の画面ミラーリング.....	51
7.5 システムプリインストールアプリケーション.....	52
第8章 付録A よくある質問.....	54

第1章 はじめに

インタラクティブフラットパネル（以下「本装置」という）は、コンピュータ、プロジェクター、インタラクティブホワイトボード、サウンドボックス、広告機などの機能を統合しています。本装置は、4Kディスプレイ、赤外線タッチ、人間と機械の相互作用、マルチメディア情報処理、ネットワーク伝送などの複数の技術によって強化されており、書き込み、注釈、マルチスクリーン共有、リモートビデオ通話（オプション）などの様々な機能を提供します。

本装置は主に、オフィス、会議室、マルチメディア教室、展示ホールなどの場所における、遠隔ビデオインタラクティブ、トレーニングおよびガイダンス、医療相談などのイベントに使用されます。

主な特徴

- 最大3840×2160解像度の入力信号に対応したUltra HDディスプレイを搭載。
- 20pxの超微細描画、直径2mmの認識が可能で、1mmの精度を実現。
- USB 3.0に対応。
- 内蔵Wi-Fiにより、ケーブル接続なしで画面ミラーリングを実現。
- 内蔵インタラクティブホワイトボードシステムにより、QRコードによる注釈・共有が可能。
- ループアウト表示が可能。
- デバイスアクセス用の各種オーディオおよびビデオインターフェース。
- 内蔵ネットワークスイッチモジュールによりネットワークスイッチが不要。
- 内蔵Androidシステムにより各種アプリケーションを提供。
- OPS/OPS-Cデバイスに対応し、内蔵システム間のスムーズな切り替えを実現。
- アルミニウムプロファイルフレームによる超薄型デザイン。
- モニターを健康的に使用するための推奨事項（目の疲れを防ぐため）：長時間画面を見つめ続けしないで、時々休憩を取ることをお勧めします。
 - 1時間以上画面を見続けた後は、遠くの景色を見ることで目を休めることができます。
 - 画面を1時間以上見つめた後は、眼球運動を行うことで目を休めることができます。

第2章 操作とメンテナンス

注意事項

本装置の液晶パネルは高精度技術で製造されています。ただし、画面上に常に点灯している、あるいは全く点灯していない微小なスポットが観察される場合や、横から見た際に色や明るさにムラが生じることがあります。ただし、これらの現象は液晶ディスプレイに共通するもので故障ではなく、本装置の性能に影響を与えることはありません。

すべての青色光が有害というわけではありません。真に有害なのは波長415nmから455nmの青色光であり、逆に480nmから500nmの青色光は、何らかの形で人体の生体リズムを調節するのに役立つため、人体に有益です。Hikvisionの低ブルーライト技術はこの事実に基づいています。LEDの主ブルーピークを調整することで、この帯域のエネルギーを基本的に低減し、ハードウェアが発する有害な青色光の割合を効果的に削減します。同時に、パネルカラーフィルムの設計を調整することで、Hikvisionは独自にNiceBlueモジュールを開発しました。これにより、カラーマネジメントにおいて究極の完璧な画質を保証しつつ、視覚保護と表示効果の両面で優れた性能を実現しています。

- 本装置の操作における第三者の過失、その他の故障や損傷について、当社は一切の責任を負いません。
- 火災や損傷の危険を避けるため、ほこり、高湿度、油や蒸気が接触する環境では本機器を操作しないでください。
- 直射日光や強い光源の近くには設置しないでください。
- 強い放射線を発生する他の機器の近くに本装置を置かないでください。
- 本装置を雨や湿気の多い環境にさらさないでください。
- 本装置を不安定または安全でない場所に置かないでください。強い衝撃、振動、揺れを避けてください。
- 火災の危険を避けるため、暖房器具の近くや高温の場所では本装置を操作しないでください。
- 低温環境から高温環境へ本機を移動した後は環境によっては、すぐに電源を入れないでください。結露が蒸発するまでお待ちください。
- 本体に異物を挿入しないでください。
- 本体の上に重い物を載せないでください。
- 本製品および付属品は予告なく変更される場合があります。
- ディスプレイの脆弱な素材は落下や衝撃に弱いため、取り扱いには十分ご注意ください。
- デバック時および操作時の不適切な操作は、本装置の損傷を引き起こす可能性があります。
- 硬い物で本機を引っかいたり叩いたりすることは厳禁です。動作中に頻繁に電源のオン/オフを繰り返すと、損傷や故障の原因となる恐れがあります。

- 本機から煙・異臭・異音が発生した場合は、直ちに電源を切り電源プラグを抜いた上で、サービスセンターまでご連絡ください。

2.1 電源コードの使用

- 電源ケーブルが損傷または故障している場合は、サービスセンターにご連絡ください。電源が適切に接地され、筐体の銘板に記載された要件を満たしていることを確認してください。
- 本機を雨や湿気の多い環境にさらさないでください。雷雨時には電源プラグとアンテナを外してください。
- 長期間使用しない場合、装置の電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- 電源を切った後、短時間放電が続く場合があります。電源を切ってから2分間待ってから操作してください。
- 本品に付属の純正電源ケーブルのみをご使用ください。同仕様の電源ケーブルをご購入の際は、正規販売店にお問い合わせください。
- 電源が確実に接地されていることを確認してください。
- 電源プラグとコンセントにほこりや金属片が付着しないようにしてください。
- ケーブルをいかなる形でも改造しないでください。
- ケーブルの上に重い物を置かないでください。
- ケーブルを熱源から遠ざけてください。
- ケーブルを引っ張って電源プラグを抜かないでください。
- 電源ケーブルを物理的または機械的な損傷から遠ざけてください。
- 本ケーブルはインタラクティブディスプレイ専用です。他の機器には使用しないでください。

2.2 清掃とメンテナンス

- 背面カバーの穴は放熱用です。背面カバーに液体を注いだり噴射したり、濡れた布で清掃しないでください。
- 清掃前には必ず電源プラグを抜いてください。
- 画面に高輝度の画像を長時間表示しないでください。
- 本体の清掃には乾いた柔らかい布を使用してください。
- 内部の清掃についてはサービスセンターにお問い合わせください。
- 適切なメンテナンスにより、初期段階の故障を回避できます。
- 定期的にデバイスを清掃し、新品同様の状態を保ってください。
- 水、スプレー式洗剤、工業用化学薬品で装置を洗浄しないでください。異物の侵入を防止してください。
- 装置のメンテナンスは資格のあるサービス担当者にご依頼ください。装置が損傷した場合は当社までご連絡いただき、無許可での修理は行わないでください。

第3章 接続と設置

3.1 設置上の注意事項

- 最高の性能を発揮させるため、設置前に装置の画面と背面を清掃してください。
- 安全のため、メーカー提供の壁掛け金具または台座のみを使用してください。
- 壁への取り付けは専門スタッフにご相談ください。
- 設置前に付属品を確認してください。不足品がある場合は販売店に連絡してください。
- 装置を過度に締め付けないでください。そうしないと画面が歪む可能性があります。
- 耐荷重壁に本装置を取り付けてください。
- 安定した場所に設置するか、壁にしっかりと固定してください。
- 電源接続を容易にするため、利用可能なAC電源コンセントの近くに設置してください。信号干渉を防ぐため、他の機器と同一の接地ケーブルを使用してください。
- 機械的な振動源の近くに本装置を設置しないでください。
- 昆虫が容易に侵入できる環境に装置を設置しないでください。
- 結露を防ぐため、エアコンの吹き出し口を直接向けしないでください。
- 電波干渉を避けるため、強い電磁界の中に装置を置かないでください。

3.2 インタラクティブフラットパネルの外観とインターフェース

3.2.1 フロントパネルおよびインターフェース

インタラクティブフラットパネルのインターフェースは以下の通りです。



Note

- デバイスのインターフェースは、タイプによって異なります。
- 以下の説明は画面を正面から見た方向からのものです。

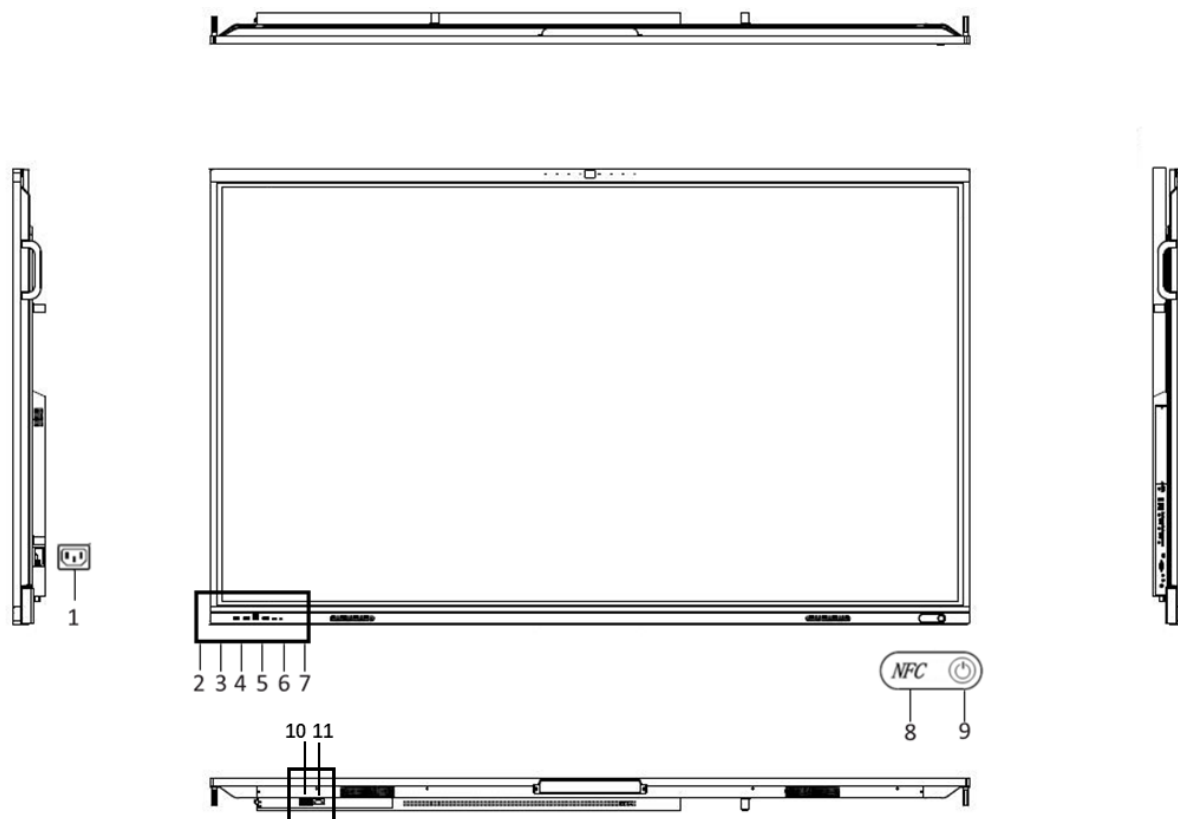


Figure 3-1 フロントパネルとインターフェース

Table 3-1 パネルの説明

番号	説明	No.	説明
1	電源インターフェース 100～ 240 VAC	2/3	USB 3.0
4	タッチUSBインターフェースは、外部ノートパソコンをドライバープログラムなしで接続できます。	5	HDMI IN
6	Type-Cインターフェースは、DP、USB 2.0、充電機能をサポートしています。	7	環境光センサー
8	NFC 操作については、 7.4.1 NFC スクリーンミラーリング を参照してください。	9	電源ボタン ● 短押しで省電力状態に切り替えます。 ● 長押しすると、デバイスの電源がオンまたはオフになります。
10	LANポート×2	11	シリアルポート

3.2.2 Interfaces on Main Board

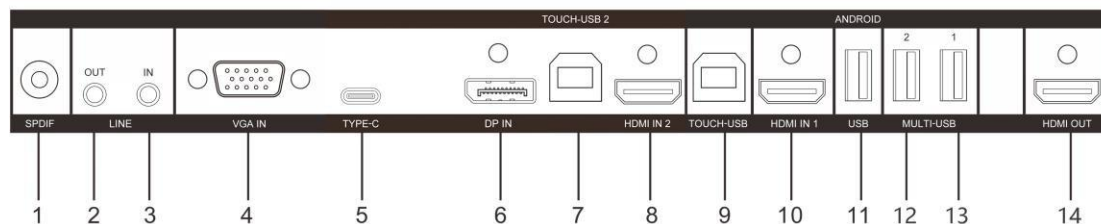


Figure 3-2 メインボードのインターフェース

Table 3-2 メインボードの説明

No.	名称	説明	No.	名称	説明
1	SPDIF	送信 デジタルオーディオ	2	ライン出力	オーディオ出力インターフェース
3	ライン入力	オーディオ 入力インターフェース	4	VGA IN	ビデオ デバイス 接続インターフェース
5	TYPE-C	Type-C インターフェース	6	DP IN	ディスプレイ入力インターフェース
7	TOUCH-USB 2	周辺機器 タッチインターフェース	8	HDMI IN 2	HDMI 2入力インターフェース
9	TOUCH-USB	周辺機器 タッチインターフェース	10	HDMI IN 1	HDMI 1入力インターフェース
11	USB	USBインターフェース	12	マルチ USB 2	マルチ機能USBインターフェース
13	マルチUSB 1	マルチ機能USBインターフェース	14	HDMI OUT	HDMI出力インターフェース

3.2.3 Connection to Personal Computer (PC)

PCと本装置の接続は下記の通りです。



取り付けまたは分解の前に、必ず装置の電源を切ってください。

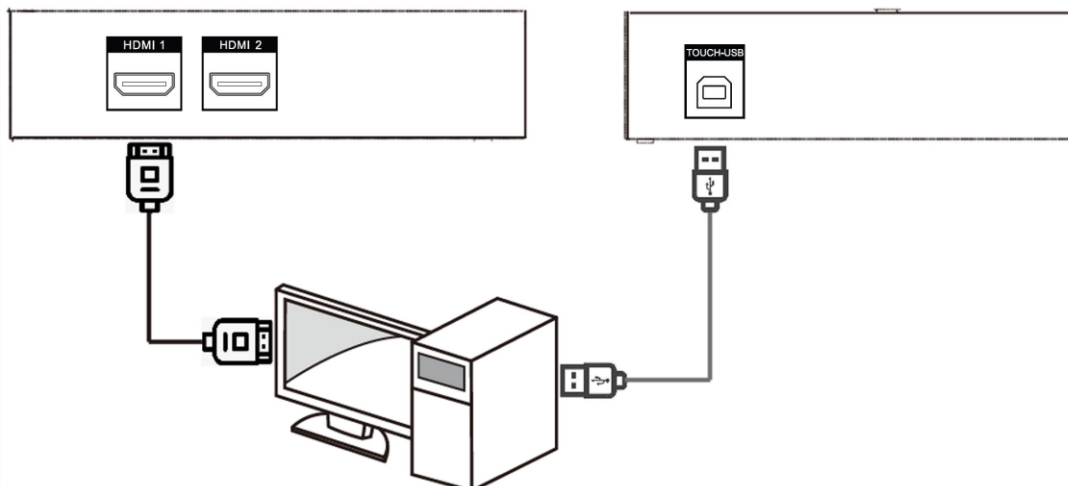


Figure 3-3 PCへの接続

Note

- タッチUSBインターフェースは、ユーザーがデバイス上の外部PCをタッチ操作する必要がある場合にのみ必要です。
- HDMI信号の高品質伝送のため、10メートル未満の高品質信号ケーブルを使用してください。
- USBケーブルは製品に含まれていません。Type-AコネクタからType-BコネクタへのUSBケーブルをご購入ください。

3.3 内部コンピュータ設置

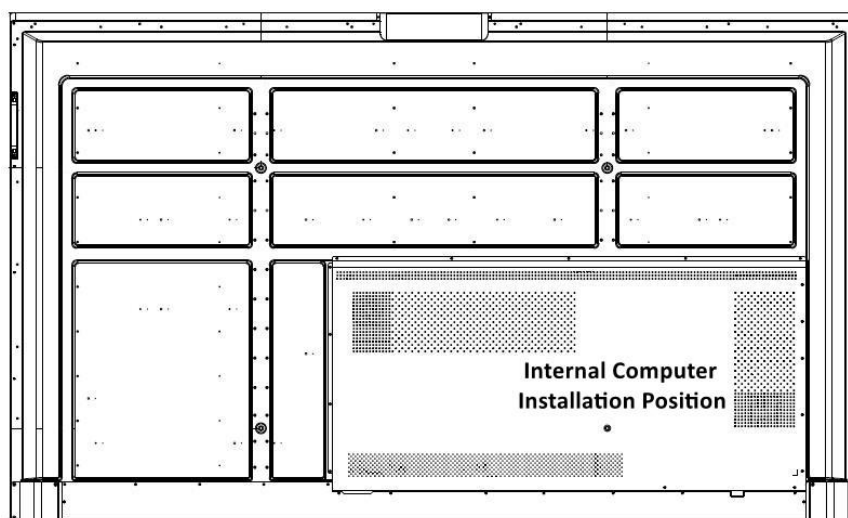


Figure 3-4 内部コンピュータ設置

コンピューターボックスは、デバイスの側面スロットに取り付けます。ボックスを取り付ける際は、上の図のように、その通気孔が背面パネルと同じ方向を向いていることを確認してください。ネジを締めてボックスを所定の位置に固定します。

 **Danger**

- コンピューターはオプションの付属品です。
- デバイスの損傷を防ぐため、コンピューターボックスの取り外しは、必ずデバイスの電源を切った後に行ってください。

3.4 取り付け

本装置は、下図のように壁掛けマウントまたは可動マウントで設置できます。

 **Note**

壁取り付け用とモバイル取り付け用の付属品は異なります。混同しないでください。

壁取り付け

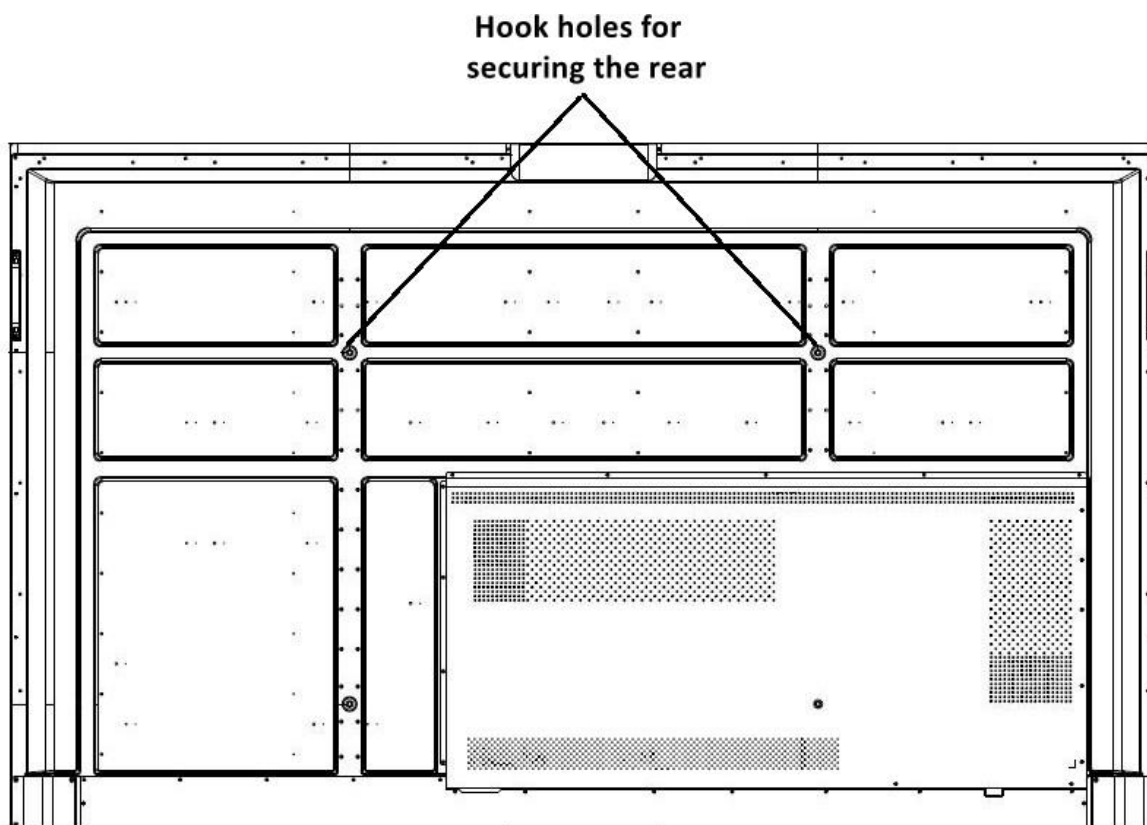


Figure 3-5 壁掛け設置 背面図

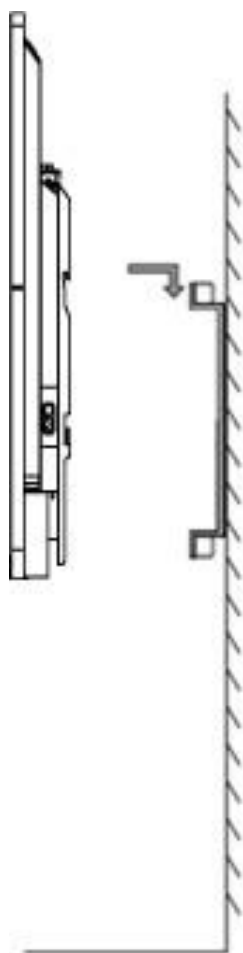


Figure 3-6 壁掛け側面図

 **Note**

壁掛けは水平方向に可動します。メンテナンスのため、各側面には6cm以上（片側みの場合は12cm以上）、上下には5mm以上のスペースを確保してください。

可動式取り付け

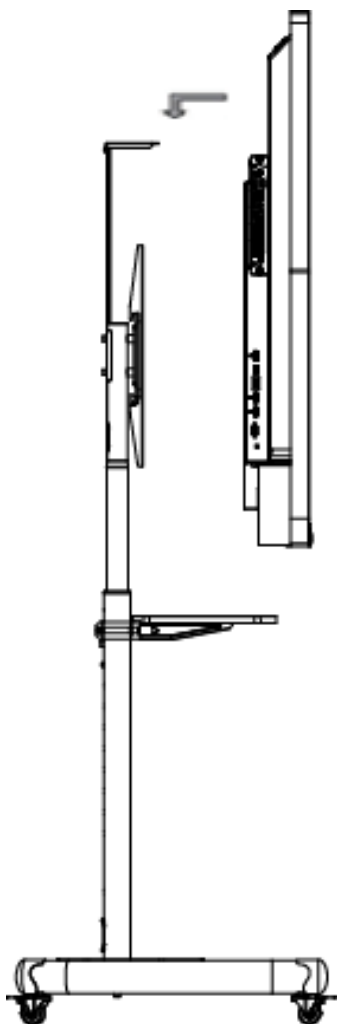


Figure 3-7 可動式取り付け

第4章 起動とシャットダウン

4.1 デバイスの起動

4.1.1 Installed Without a Computer Box

Step 1 電源に接続します。

Step 2 電源スイッチをオンにすると、フロントパネルの電源インジケータが赤く点灯します。

Step 3 前面パネルの電源ボタンを押して装置を起動すると、インジケータが青色に点灯します。

4.1.2 Installed with a Computer Box

装置の電源を切った状態でボックスを設置し、設置完了後に電源スイッチをオンにしてください。起動時にはボックスの電源インジケータが赤色になり、ファンが作動します。ピープ音の後、電源インジケータが緑色になり、コンピュータが起動します。

同時に、フロントパネルの電源インジケータが青色に点灯し、デバイスが起動したことを示します。

4.2 エコモード

エコモードへの移行

前面パネルの電源ボタンを押して画面をオフにし、エコモードに入ります。

デバイスの起動

デバイスを起動する4つの方法:

- 前面パネルの電源ボタンを押す。
- リモコンの電源オフボタンを押す。
- 画面の任意の場所を2回タッチする。
- 「シャオハイ、シャオハイ」と声をかけて画面を起動する。

4.3 シャットダウン

● コンピュータボックスが接続されていない場合、またはコンピュータボックスの電源がオフになっている場合は、直接電源を切り、デバイスをシャットダウンしてください。

● コンピュータボックスが接続されている場合で、その電源が入っているときは、**[スタート]**をタップし、「シャットダウン」を選択するか、コンピューターボックスの電源ボタンを押してシャットダウンします（強制シャットダウン）。その後、電源を切り、デバイスをシャットダウンしてください。

 **Note**

デバイスの電源を直接切ると、コンピューターボックスが強制的にシャットダウンします。次回起動時、Windowsがエラー回復モードに入り、画面タッチが無効になる可能性があります。この場合、デバイスにマウスとキーボードを接続する必要があります。

- リモコンの電源オフボタンを長押ししてください。

第5章 メニュー操作

Note

ソフトウェアのインターフェースや機能は、デバイスモデルによって異なる場合があります。本マニュアルの図はすべて説明用のイメージです。

デバイスの電源を入れ、メインページに移動します。画面下部にショートカットメニューが表示されます。

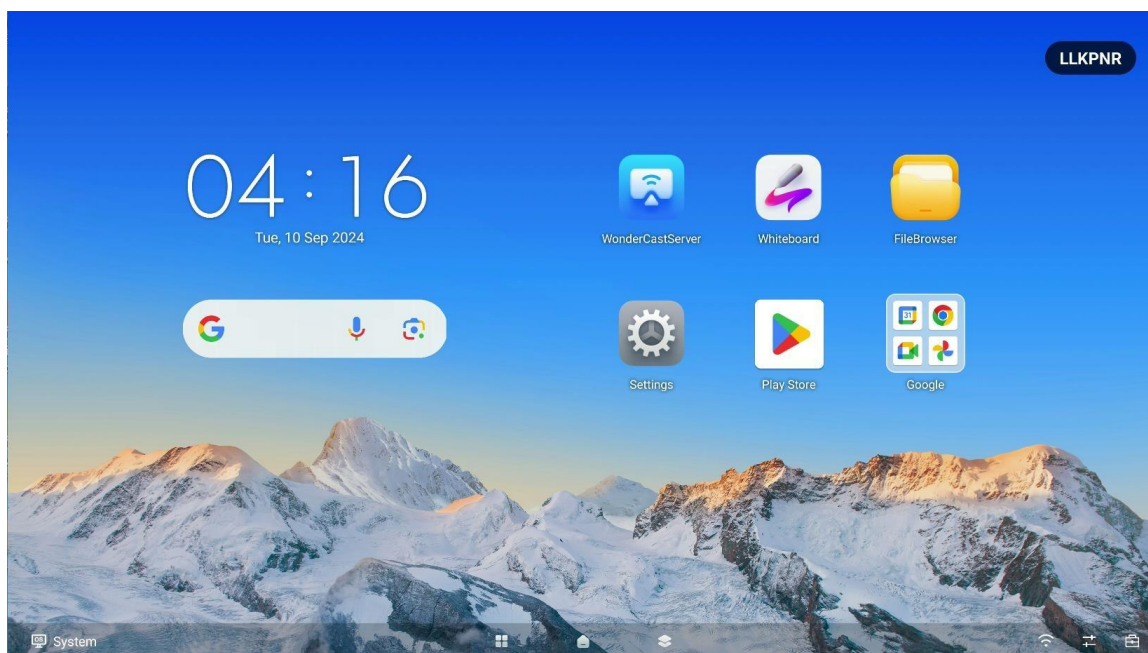


Figure 5-1 メインページ

Note

メイン画面のアプリケーションアイコンを長押しすると、以下の操作が可能です：

- アプリケーションを画面間で移動する。
- アプリケーションをウィンドウ形式で開く。
- 他のアプリケーションとフォルダに統合する。

5.1 基本操作

ショートカットアイコンの機能は以下の通りです。



Figure 5-2 ショートカット

Table 5-1 ショートカットの説明

No	機能	No.	機能
1	タップすると、下部のメニューバーを非表示にします。	6	タップして、すべてのアプリまたはプロセスのチェックをオンまたはオフにします。
2	前のページに戻るにはタップします。	7	タップしてネットワークパラメータとホットスポットを設定します。
3	タップして入力ソースを選択します。	8	タップして明るさと音量を設定します。
4	タップしてすべてのアプリケーションを確認します。 長押しすると、選択したアプリケーションを分割画面モードまたはウィンドウモードで表示するために移動できます。	9	タップしてコントロールメニューを開きます。
5	タップしてメインページに戻ります。		

Note


斜めのストロークがオフの場合、最大20本のペンを使用できますが、オンの場合は1本のみです。下部バーメニューが非表示になった後、をタップして呼び出せます。



Figure 5-3 ボトムバーを呼び出す

5.2 システムバー

システムバーの領域を長押しすると、システムバー内のアプリのレイアウトを変更できます。

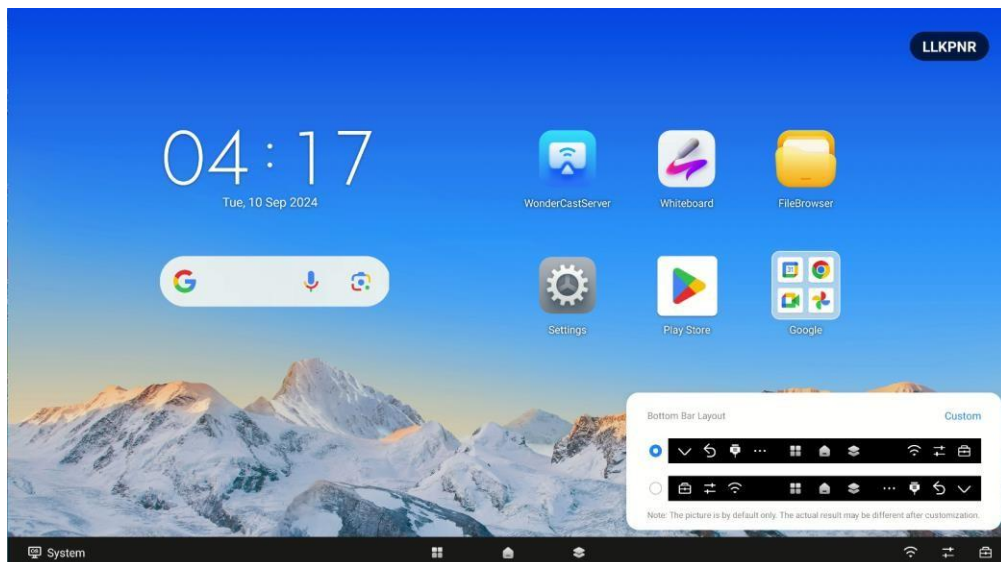


Figure 5-4 システムバーのレイアウト

「カスタマイズ」をクリックし、アイコンを移動して位置を調整します。

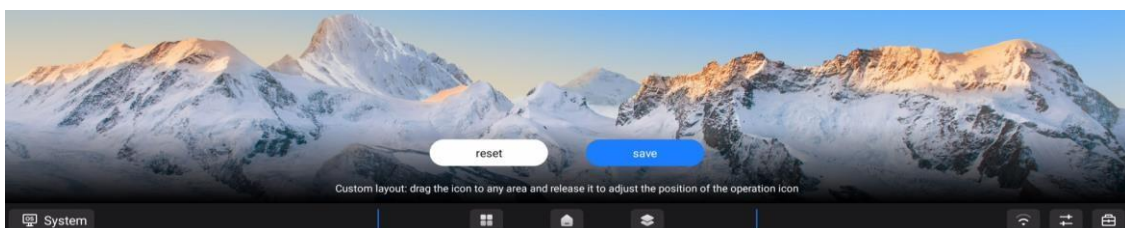


Figure 5-5 システムバーのレイアウトをカスタマイズする


5.3 入力ソース

下部の入力ソースアイコンをタップし、デバイスの入力ソースを設定します。システム、HDMI 1、HDMI 2、Type-C、DP、VGA が利用可能です。

5.4 ネットワーク

有線ネットワーク、無線ネットワーク、およびWLANホットスポットの詳細なパラメータを設定します。詳細は [ネットワーク設定](#) の詳細については、

5.5 コントロールメニュー

下部にある「」をタップしてコントロールメニューを表示し、必要に応じて以下の操作を設定します。

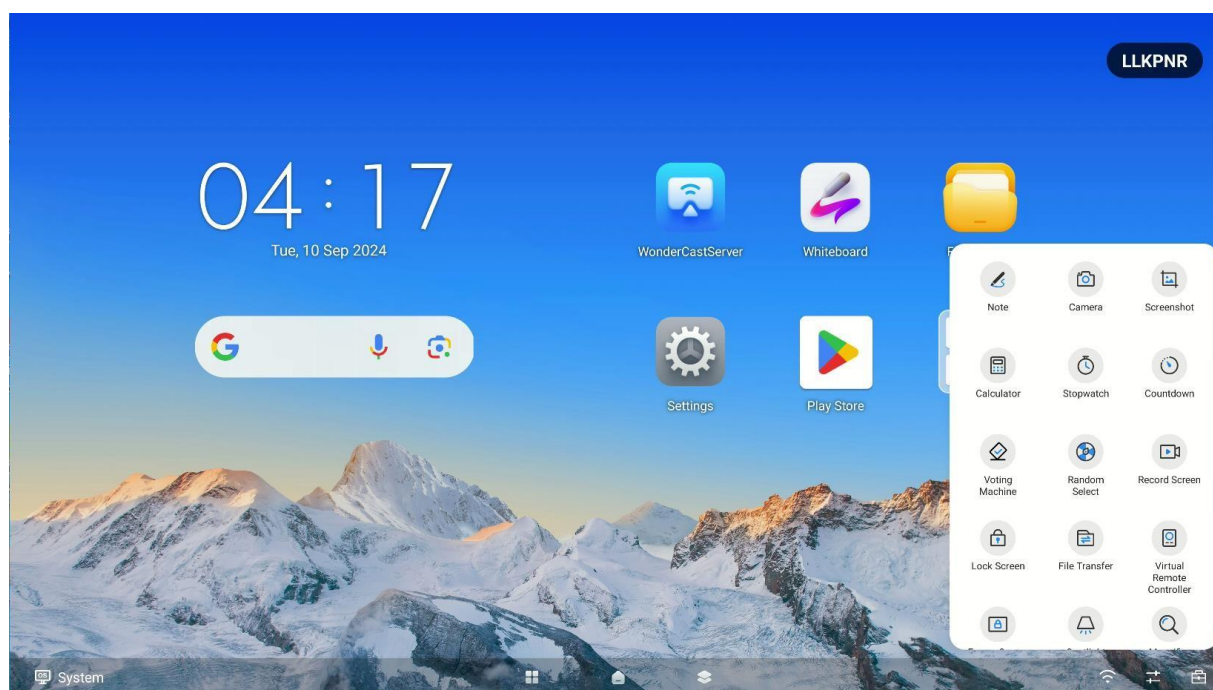



Figure 5-6 コントロールメニュー

Table 5-2 コントロールメニューの説明

ツール	説明
注記	現在のページに注釈を追加します。
カメラ	デバイスに接続されたカメラを開きます。
スクリーンショット	現在のページをキャプチャします。
計算機	内蔵電卓を有効にします。
ストップウォッチ	時間を計測します。
カウントダウン	秒をゼロまで逆数で数えなさい。
投票機	投票設定を投票用に設定する。
ランダム選択	選択肢の数を設定し、1つをランダムに選択します。
画面録画	画面を動画として録画します。
画面ロック	タップするとタッチロックが有効になり、ロックされたページではタッチ操作が使用できなくなります。ロックをタップして終了すると、タッチ機能が通常に戻ります。
ファイル転送	ファイルを転送します。
仮想リモコン	仮想コントローラーを有効にします。ホバー表示のリモコンメニューは、上、下、左、右、確定、戻る、ホームボタンをサポートし、ホバー表示の仮想リモコンの位置は移動可能です。
画面固定	現在のページを静止表示します。
スポットライト	タップすると開口部を有効にします。明るさとサイズは調整可能です。
拡大鏡	拡大鏡をタップしてください。次に画面をタッチするとズーム円が表示され、移動して詳細を確認できます。円のサイズは調整可能です。
メトロノーム	タップするとメトロノームが表示されます。スタートボタンをタップすると拍子が聞こえます。音符と拍子は調整可能です。
カレンダー	日付情報を確認します。
ピアノ	仮想ピアノツール。
ブラックスクリーン	タップすると画面をオフにします。

5.5.1 Note

 → **Note** でメモを取ることができます。画面をタッチして移動することで、ページのどこにでもメモを追加できます。

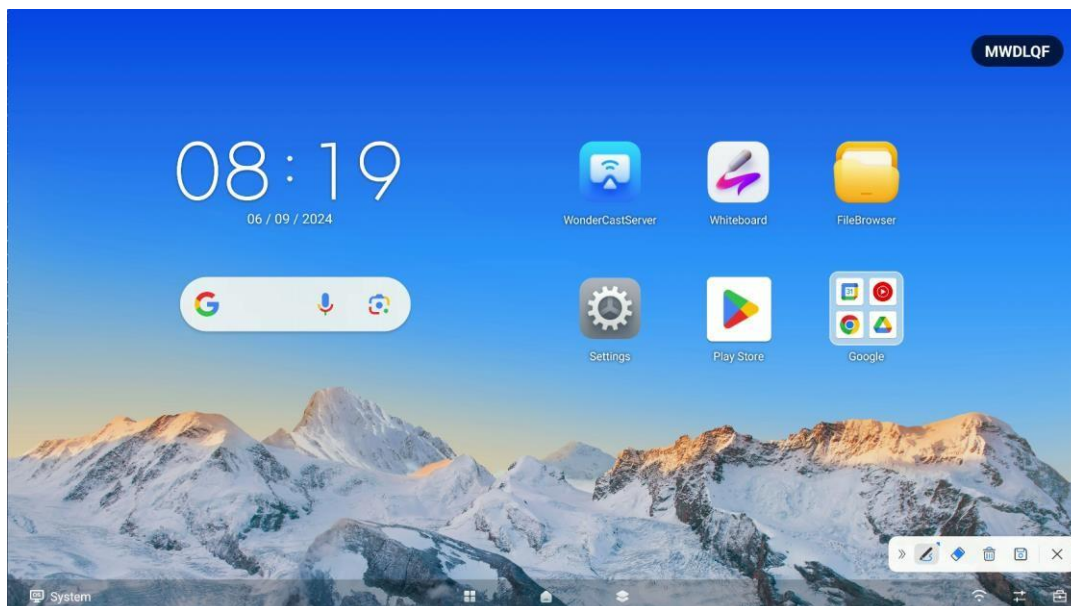








Figure 5-7 メモを取る


Table 5-3 アイコンの説明

アイコン	説明
	タップしてペン色とサイズを調整し、書き込みます。 斜めのストロークを有効にするか無効にするか。タップ 度ストローク付きの線を表示するにはをタップし、角度ストロークなしの線を表示するには タップすると角度ストロークなしの線になります。
	タップして、必要なメモを消去します。
	タップしてすべてのメモを消去します。
	タップして現在のページを保存します。 フラットパネルがインターネットまたはLANに接続されているときにノート のQRコードを生成します。インターネットにアクセスできる端末、または インタラクティブフラットパネルと同じLAN内の端末でQRコードをスキャン すると、ノートをダウンロードできます。
	タップでノートを終了します。
	タップでノートツールバーを折りたたむ/展開する。

 **Note**

斜めストロークがオフの場合、最大20本のペンが使用可能。オン
の場合は1本のみ。

5.5.2 Screenshot

 → スクリーンショットに移動すると、現在のページにキャプチャ領域が表示されます。四隅をタップしてドラッグし、領域を調整してください。スクリーンショットツールバーが領域の右下隅に表示されます。

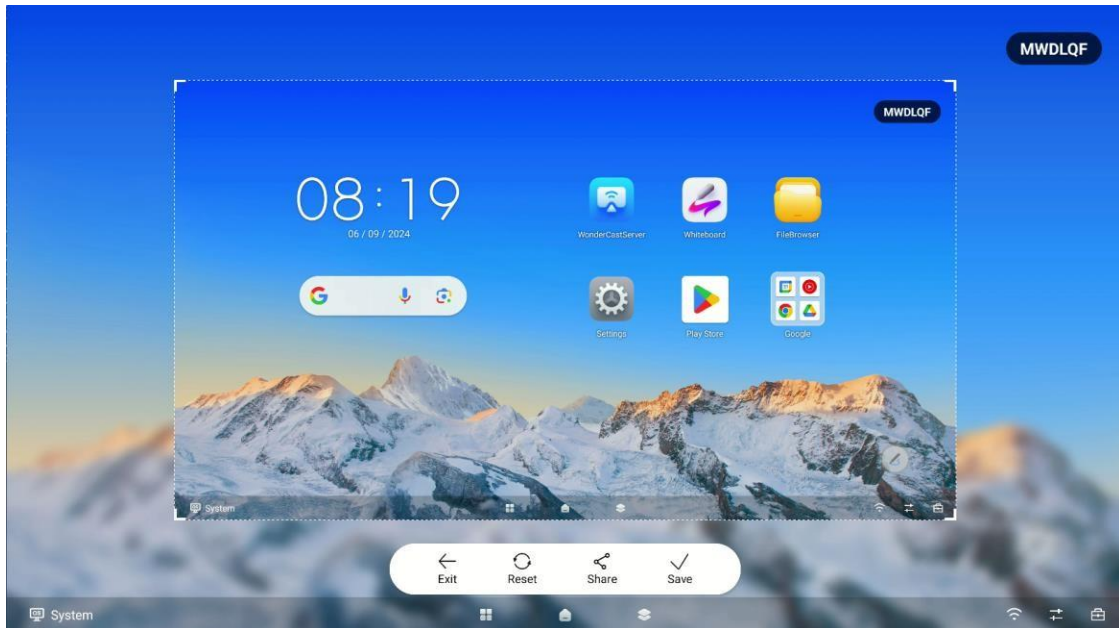






Figure 5-8 スクリーンショット

Table 5-4 スクリーンショットツールバーの説明

アイコン	説明
	スクリーンショットを終了します。
	ページ全体をキャプチャします。
	スクリーンショットからQRコードを生成し、インターネットにアクセスできる端末、またはインタラクティブフラットパネルと同じLAN内の端末でQRコードをスキャンしてスクリーンショットをダウンロードできます。
	キャプチャ領域にスクリーンショットを保存。

5.5.3 Vote Machine

タブレットが公共ネットワークに接続された後、コントロールメニューの「投票」をクリックします。クイック投票、または設定されたオプションに基づく投票を選択できます。

開始前に

デバイスがネットワークに接続されていることを確認してください。

クイック投票

Step 1 クイックをクリックして投票オプションの数を選択してください。

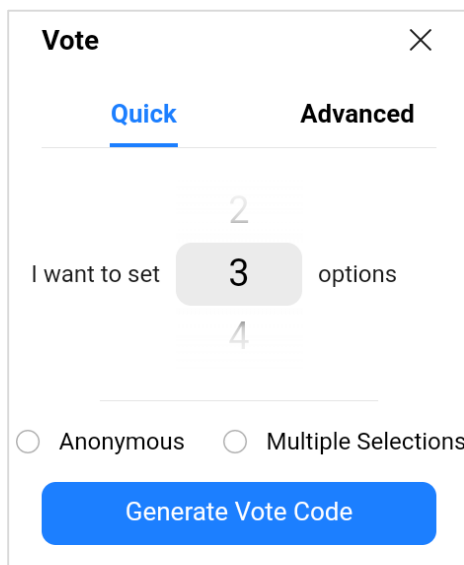


Figure 5-9 クイック投票

Step 2 実際のニーズに応じて、以下のパラメータを設定してください。

- 匿名: 名前なしで投票します。
- 複数選択: 投票時に複数の選択肢を選択できます。

Step 3 携帯電話でコードをスキャンして投票するには、「投票コードを生成」をクリックしてください。

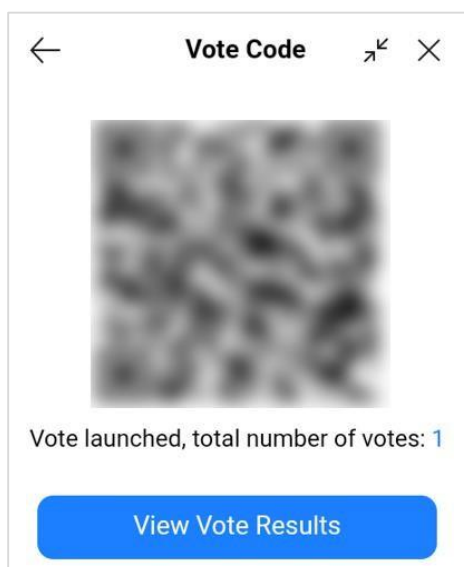


Figure 5-10 携帯電話で投票

Step 4 「投票結果を表示」をクリックして投票を終了し、詳細を確認します。

Step 5 オプション: 携帯電話で投票結果をダウンロードするには、「スキャンしてダウンロード」をクリックしてください。

詳細投票

Step 1 **詳細設定**をクリックし、インターネット接続可能な携帯電話によるQRコードスキャン、またはインタラクティブフラットパネルと同じLAN内での投票を設定してください。



Figure 5-11 詳細投票

Step 2 実際のニーズに応じて以下のパラメータを設定してください。

- 投票テーマ/投票オプション: カスタム設定。
- 匿名: 名前なしで投票。
- 複数選択: 投票時に複数の選択肢を選択可能。

Step 3 「投票を開始」をクリックし、携帯電話でコードをスキャンして投票します。 **Step 4**

「投票結果を表示」をクリックして投票を終了し、詳細を確認します。

Step 5 オプション: 携帯電話で投票結果をダウンロードするには「スキャンしてダウンロード」をクリックしてください。

5.5.4 Random Select

教室では、くじ引きを始めたり、ランダムに生徒を選んで質問に答えさせることができます。

手順

Step 1  → **ランダム選択**に移動し、選択肢の数を設定します。 **次へ**をクリックします。

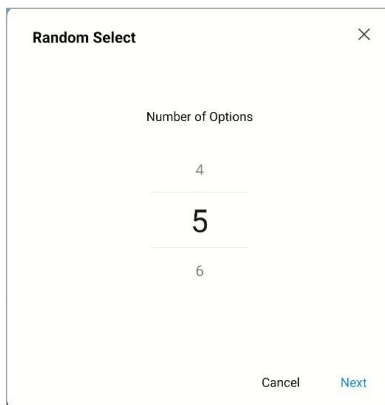



Figure 5-12 選択肢の数を設定

Step 2 「」をクリックしてラッキークルーズを回転させ、再度クリックして停止します。するとランダムに選ばれた選択肢が表示されます。

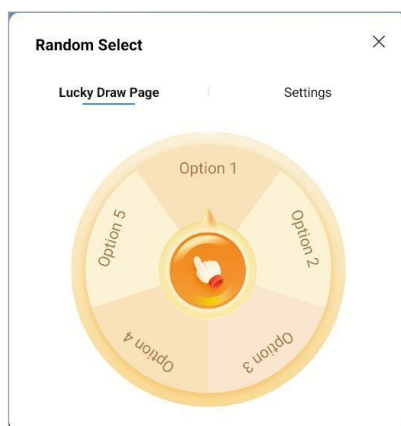


Figure 5-13 ラッキーホイール

 **Note**

設定をタップすると、オプションの名前を編集できます。

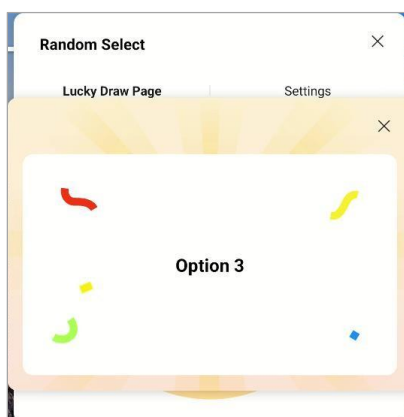


Figure 5-14 選択されたオプション

5.6 カメラ機能

5.6.1 Camera

カメラをクリックして写真やビデオを撮影します。

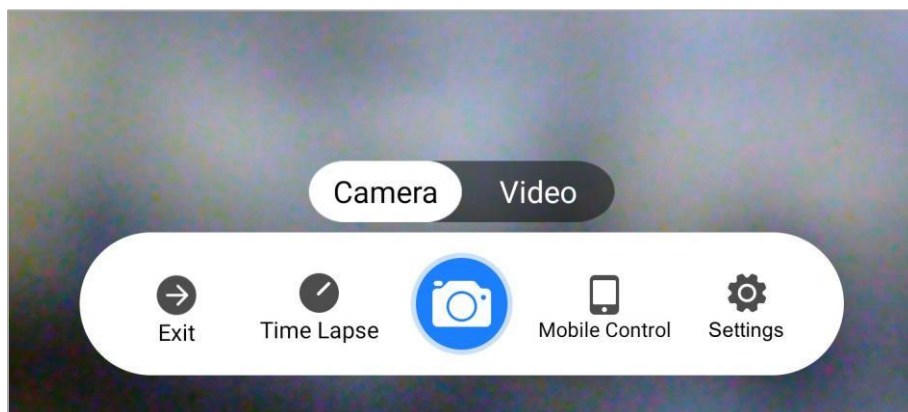


Figure 5-15 カメラ

Table 5-5 スクリーンショットツールバーの説明

アイコン	説明
	カメラを終了します。
	選択した遅延時間に従って撮影を遅延させます。
	写真を撮る。写真をホワイトボードにインポートしたり、携帯電話に保存したりできます。
	携帯電話とデバイスが同じLANに接続された後、コードをスキャンしてカメラを制御し、写真を撮ることができます。

5.6.2 Video

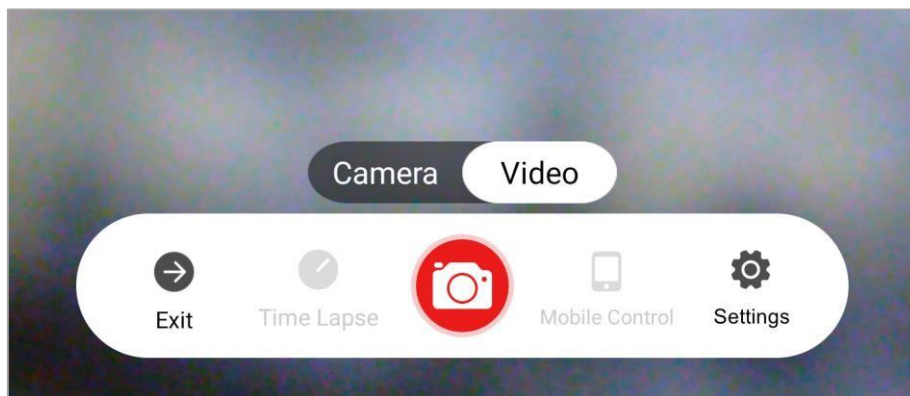




Figure 5-16 ビデオ

Table 5-6 スクリーンショットツールバーの説明

アイコン	説明
	ビデオを終了します。
	録画を開始します。


5.6.3 Settings

設定をクリックして、以下のパラメータを設定します。



Figure 5-17 カメラ設定

カメラ切り替え:

システムカメラと外部カメラを切り替えるには、[] をクリックしてください。

外部カメラに切り替える際は、システムバーの「  」 をタップし、**カメラ設定**を調整してください。

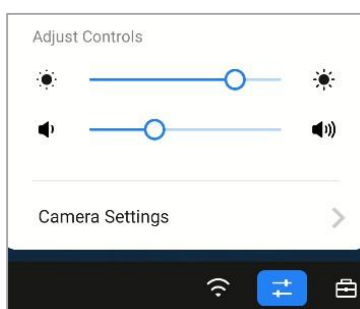


Figure 5-18 外部カメラ設定



Figure 5-19 外部カメラ設定オプション

インテリジェントアプリケーション:

- **オートフレーミング:** この機能を有効にすると、カメラは自動的に調整を行い、検出された顔を画面の中央に表示します。感度は3段階から選択できます
オプションから選択できます: 低、中、高。

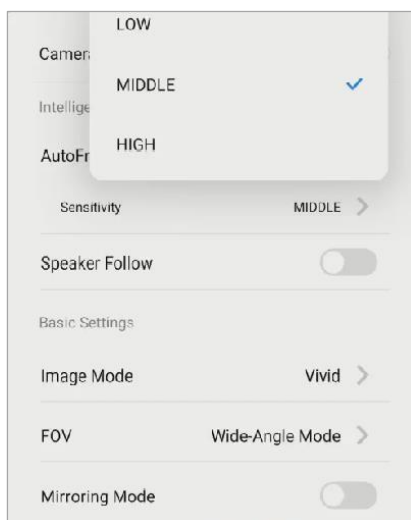


Figure 5-20 オートフレーミング感度オプション

- **スピーカー追従:** この機能を有効にすると、カメラは検出された話者を自動的に追跡し、画面中央に表示します。
感度を3段階（低・中・高）から選択できます。

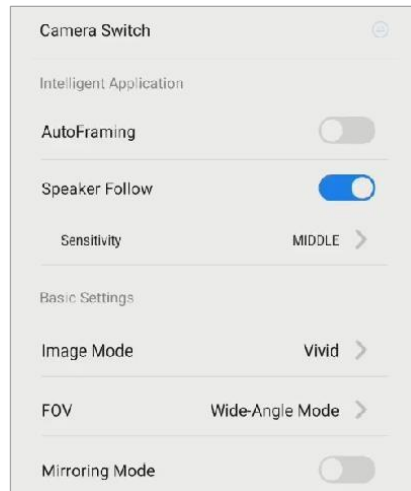


Figure 5-21 スピーカー追従感度オプション

基本設定

- **画像モード:** クリックして画像モードを選択します。**標準**、**ビビッド**、**逆光モード**が含まれます。
- **FOV:** クリックして**広角モード**または**センターモード**を選択します。
- **スクリーンミラーリング:** この機能を有効にすると、カメラは画像を反転します。




第6章 システム設定

デバイスの電源投入後、画面にはメインページが表示されます。画面を左または右にスライドすると、アプリケーション、デバイスのステータス、ヘルプドキュメントを表示できます。

6.1 ネットワーク設定

ネットワークの状態は画面の下部に表示されます。

Table 6-1 異なるネットワーク状態

アイコン	説明
	有線ネットワークに接続されています。
	ワイヤレスネットワークに接続されています。
	ネットワークに接続されていません。

6.1.1 Wired Network Settings

Step 1 設定 → ネットワーク → 有線ネットワークに移動します。

Step 2 有線ネットワークを有効にします。

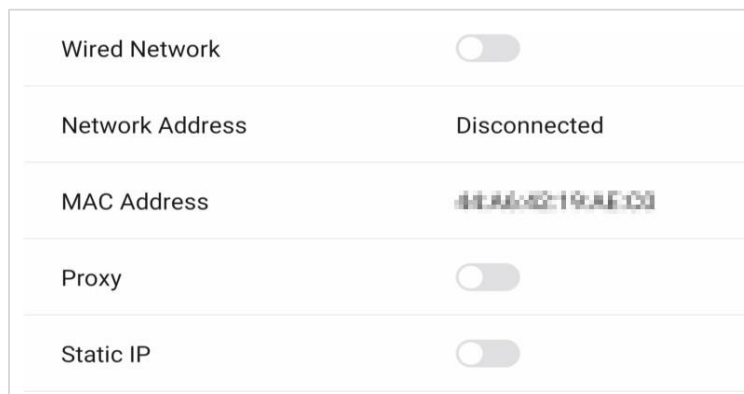


Figure 6-1 有線ネットワーク設定

Step 3 オプション: タップしてプロキシまたは静的 IP を有効に

します。プロキシ設定

プロキシを有効にした場合は、プロキシホストとポート番号を設定し、プロキシを使用しない URL を設定する必要があります。

Proxy	<input checked="" type="checkbox"/>
Port	192.168.1.100
Port No.	1080
The following address do not use	

Figure 6-2 プロキシ設定

静的IP設定

静的IPを有効にした場合、IPアドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク、DNS1、DNS2などのネットワークパラメータを設定する必要があります。

Static IP	<input checked="" type="checkbox"/>
IP Address	
Gateway	
Subnet Mask	255.255.255.0
DNS 1	8.8.8.8
DNS 2	8.8.8.8

Figure 6-3 静的IP設定

6.1.2 Wireless Network Settings

Step 1 設定 → ネットワーク → 無線ネットワーク に移動します。

Step 2 WLANを有効にすると、新しいネットワークを追加したり、利用可能なネットワークに接続したりできます。

利用可能なネットワークに接続

- 利用可能なネットワークリストから目的のネットワークをタップし、パスワードを入力して接続します。
- 「接続」をタップすると、ネットワーク情報ページが表示されます。「ネットワークを消去」をタップすると、選択したネットワークの情報を削除します。「キャンセル」をタップするとページを終了します。

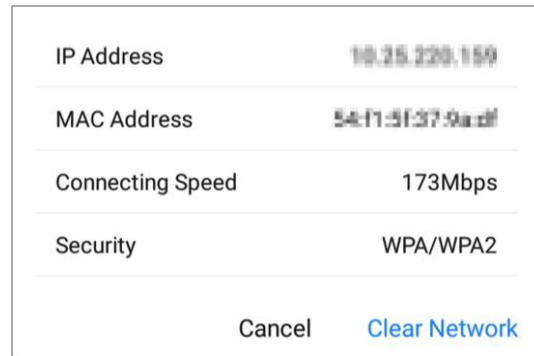


Figure 6-4 ワイヤレスネットワーク情報

その他のネットワークを追加

Step 1 「その他のネットワークを追加」をタップします。

Step 2 Wi-Fi 名を入力し、セキュリティを選択します。

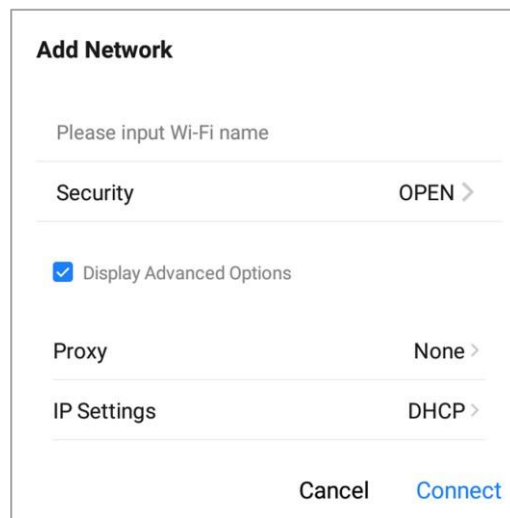


Figure 6-5 他のネットワークを追加

Step 3 オプション: [詳細設定を表示] をチェックして、プロキシとネットワーク IP タイプを選択します。

Step 4 [接続] をタップして、デバイスを追加したワイヤレスネットワークに接続します。

6.1.3 WLAN Hotspot Settings

デバイスが有線ネットワークに接続されている場合、WLAN ホットスポットを有効にして他のデバイスにワイヤレスネットワークを提供できます。

Step 1 設定 → ネットワーク → ホットスポットに移動しま

す。Step 2 ポータブル WLAN ホットスポットを有効にし

す。

ホットスポット分離: ホットスポット分離を有効にした後、デバイスがLANに接続されていても、LAN内のウェブサイトなどのリソースにアクセスできません。

Step 3 ポップアップページでパラメータを設定します。

Portable WLAN Hotspot	<input checked="" type="checkbox"/>
Device Name	Please input network SSID
Security	WPA2 PSK >
Password
AP Frequency	5 GHz >
AP Channel	153 >
Hotspot Isolation	<input type="checkbox"/>

Figure 6-6 ホットスポット設定

Note

デバイスが 2.4 GHz と 5 GHz の両方に対応している場合は、ワイヤレス画面ミラーリングなどの機能をより快適にご利用いただくために、**AP 周波数**を 5 GHz に、**AP チャンネル**を推奨チャンネルに設定してください。

6.2 ディスプレイ設定

設定 → ディスプレイ に移動し、明るさやスリープ時間などのパラメータを調整します。

Display	
Auto Brightness	<input type="checkbox"/>
Brightness Parameter	
Blueight Filter	<input type="checkbox"/>
Color Temperature	Normal Mode >
Theme	Trendy >
Wallpaper	>
Sleep	Close >
Screensaver	Close >
Screensaver Configuration	>

Figure 6-7 ディスプレイ設定

自動輝度

この機能は有効にすると、環境に応じて自動的に明るさを調整します。

明るさパラメータ

スライダーをスライドさせて画面の明るさを調整します。

ブルーライトフィルター

ブルーライトをフィルタリングして目を保護する機能を有効にします。

色温度

タップして、**ハイライト**、**ノーマル**、**クールカラー**、**ウォームカラーモード**を選択します。

テーマ

デバイスのテーマを設定します。**設定**をタップして目的のテーマを選択し、**適用**をタップします。**壁紙**

壁紙をタップして、壁紙ライブラリまたはシステム画像ライブラリから希望の画像を壁紙として選択するか、デフォルトの壁紙に戻します。

スリープ

スリープモードの非アクティブ期間を設定します。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーを有効にする非アクティブ期間を設定します。

スクリーンセーバーの設定

タップしてポップアップページでスクリーンセーバー画像を選択し、「**ライブビュー**」をタップして効果をプレビューします。**適用**をタップすると、選択した画像をスクリーンセーバーとして設定できます。スクリーンセーバーはカスタマイズすることも可能です。



Note

スクリーンセーバー**設定**で、新しいスクリーンセーバー画像を追加できます。**+**をタップしてください。

6.3 オーディオ設定

Step 1 オーディオパラメータを設定するには、**設定** → **オーディオ**に移動

します。**Step 2** 音量値を調整します。

Step 3 (オプション) **オーディオモード**と**ノイズリダクションレベル**を選択します。

Step 4 (オプション) **音収集エリア**: 設定に応じて、音を集めたいエリアの範囲がリアルタイムで変化します。

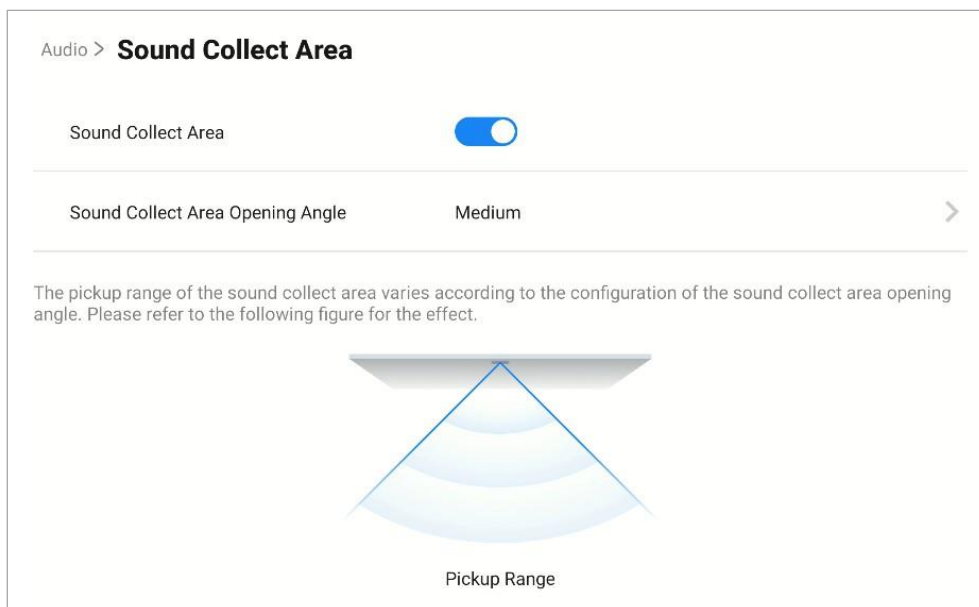


Figure 6-8 サウンド収集エリア

6.4 言語と入力設定

Step 1 設定 → 言語と入力に移動します。

Step 2 言語をタップして、希望する言語を選択します。

Step 3 入力方法をタップして、希望の入力方法を選択します。



Figure 6-9 言語と入力設定

6.5 日付と時刻の設定

Step 1 設定 → 日付と時刻に移動します。

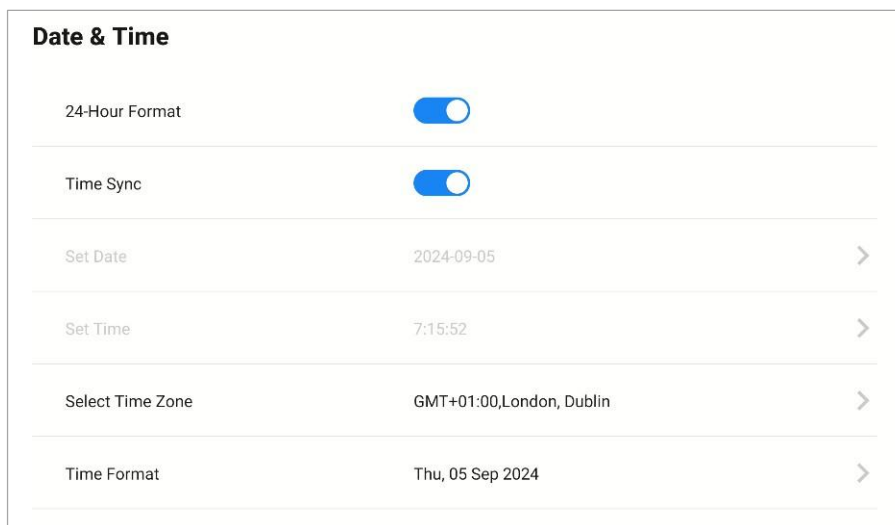


Figure 6-10 日付と時刻の設定

Step 2 時刻同期を有効にする

Step 3 タイムゾーンを選択をタップして地域を選択します。

Step 4 (オプション) 24時間形式を有効にして、24時間形式で時刻を表示します。Step 5 (オプション) 時間形式を選択します。



Note

時刻同期が無効の場合、日付と時刻を手動で設定できます。

6.6 アプリケーション管理

Step 1 設定 → アプリケーション管理 に移動します。Step 2 詳

細を確認したいアプリケーションをタップします。

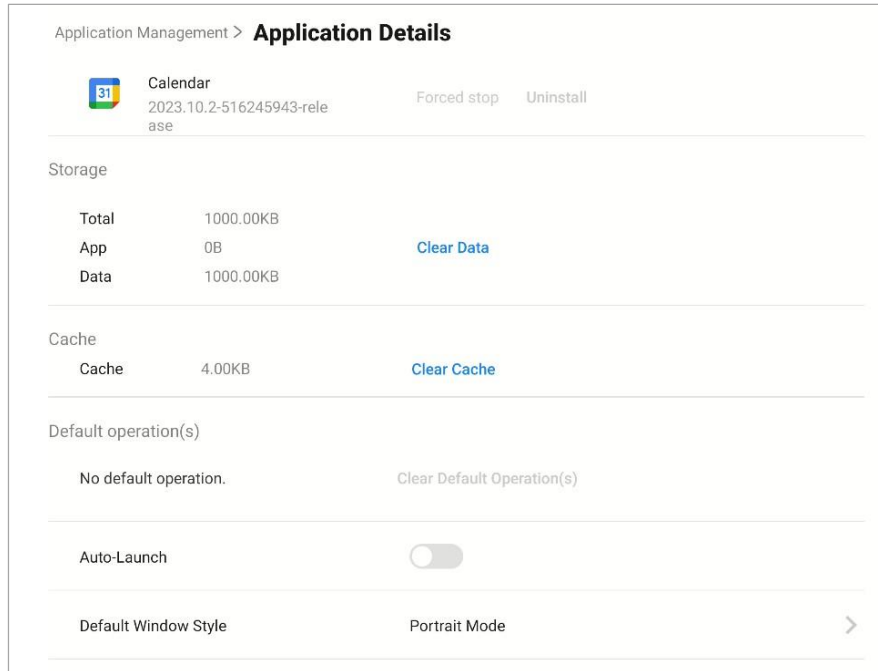


Figure 6-11 アプリケーションの詳細

Note

- 内蔵アプリケーションはアンインストールできません。アプリケーションの詳細でアイコンをタップすると、アプリケーションを開くことができます。
- サードパーティ製アプリケーションのインストール後、4Kディスプレイを有効にできます（機器の再起動後に有効になります）。

Step 3 自動起動を有効にします。選択したアプリケーションは、デバイスの電源投入時に自動的に起動します。

Step 4（オプション）ウィンドウスタイル（縦向き/横向きモード）を選択します。アプリケーションをウィンドウモードで開くと、対応するスタイルで表示されます。

6.7 Bluetooth

リモコン、オーディオ、キーボードなどをBluetooth経由で接続でき、ファイル転送も可能です。

Bluetoothを有効にして、近くにある利用可能なデバイスを検索し、接続したいデバイスをタップします。

6.8 補助機能

6.8.1 Intelligent Temperature Control

本装置は内部温度をリアルタイムで監視します。設定した警告温度または警報温度の上限を超えた場合、装置はプロンプトメッセージを表示し、タイムリーな対応を促します。

Step 1 設定 → 補助機能 → 温度制御 に移動してください。

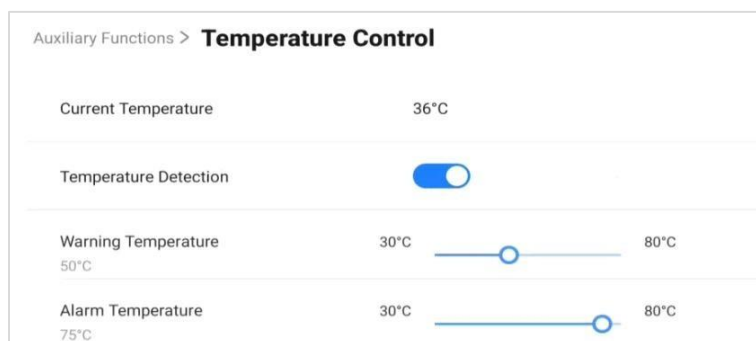


Figure 6-12 インテリジェント温度制御

Step 2 温度検出を有効にする。

Step 3 スライド操作で警告温度と警報温度を設定します。



設定した警報温度の上限を超えた場合、ポップアップメッセージに従ってデバイスをオフにしてください。

6.8.2 Smart Remote Control

リモコン（オプション）でデバイスを操作できます。

設定 → 補助機能 → スマートリモコン へ移動し、リモコン設定ページに入ります。

6.9 詳細設定

設定 → 詳細設定 を選択します。以下のパラメータを設定できます。

Advanced Settings		
Email	Settings	>
Input Source Settings	Settings	>
Select Camera	None	>
Input Device	System microphone	>
Output Device	System speaker	>
Startup/Shutdown	Settings	>
Device Permission	Settings	>
QR Code Sharing Settings	Share in LAN Only	>
Wakeup Settings	Settings	>

Figure 6-13 詳細設定

電子メール

ホワイトボードから共有コンテンツを受信するEメールアドレスを設定します。

入力ソース設定

● 起動時入力ソース

デフォルトの起動入力ソースは **Android** です。カスタム入力ソース名もサポートされています。名を変更できます。

● 信号源接続時の自動切り替え

この機能を有効にすると、外部入力ソースが接続された際にシステムは新たに接続された入力ソースに切り替わります。

● 信号源切断時の自動切り替え

この機能を有効にすると、外部入力ソースからデバイスが切断されると、システムは設定済みの入力ソースに切り替わります。

カメラの選択

デバイスに紐付けられている外部カメラの中から選択します。

入力デバイス

外部USB入力オーディオデバイスに対応し、複数のデバイスからオーディオ入力デバイスを選択できます。

出力デバイス

外部USB出力オーディオデバイスをサポートし、複数のデバイスからオーディオ出力デバイスを選択できます。

起動/シャットダウン設定

- **起動モード**
起動またはスタンバイを選択します。
- **スケジュール起動/シャットダウン**
起動およびシャットダウンのスケジュールを設定します。
- **信号なしシャットダウン**
信号が受信できない場合の自動シャットダウン時間を設定します。

デバイスの権限設定

- **Wi-Fiを無効にする**
Wi-Fiが無効の場合、デバイスは無線ネットワークに接続できません。
- **コピー許可オフ**
USBディスクからのコピーが無効になっている場合、外部ディスクからデバイスを読み取ることができません。

QRコード共有設定

インターネットにアクセスできる他の端末デバイス、またはインタラクティブフラットパネルと同じLAN内の端末デバイスでスキャンしたQRコードを通じて、ホワイトボードのコンテンツを共有します。

ウェイクアップ設定

- **シリアルポートからのウェイクアップ**
この機能を有効にすると、スタンバイ状態のデバイスをシリアルポートコマンドで起動できます。
- **信号源からのウェイクアップ**
HDMI信号による起動はデフォルトで有効です。デバイスが電源オフ状態の場合、HDMI入力により電源を入れることができます。

Note

この機能を無効にした場合、スタンバイ状態のデバイスは電源スイッチまたはリモコンの電源ボタンで起動でき、シリアルポートやHDMI経由での起動はできません。

EDIDバージョン

EDID のバージョン選択をサポートします。

HDMI出力設定

HDMI インターフェースを介してデバイスを接続し、コンテンツを共有します。希望する解像度を設定し、HDCP (高帯域幅デジタルコンテンツ保護) を有効にし、出力デバイスまたは両方のデバイス (インタラクティブフラットパネルと出力デバイス) でオーディオを再生するかどうかを選択できます。

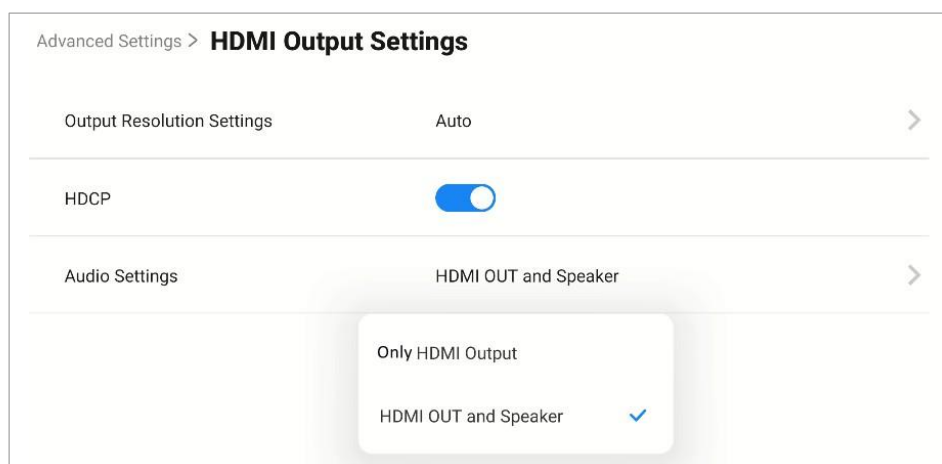


Figure 6-14 HDMI オーディオ設定

Note

HDCP機能を有効にするには、フラットパネルに接続されたディスプレイがHDCP機能をサポートしている必要があります。

ブートアニメーション設定

- アニメーションファイルをUSBフラッシュドライブのルートディレクトリに配置し、「**起動アニメーションを設定**」をクリックします。システムは自動的に適格なアニメーションファイルを検出し、置き換えます。
- **ブートアニメーションをリセット**をクリックすると、工場出荷時の設定に復元されます。

Note

起動ロゴはBMP形式で、画像のビット深度は8ビットである必要があります。起動アニメーションファイルはPNGまたはJPG形式である必要があります。

6.10 ユーザー設定

共有インタラクティブフラットパネルに複数のアカウントを追加し、各アカウントのサインイン情報を設定できます。複数人でデバイスを共有し、各自のファイル、ブラウザのお気に入り、設定を表示できます。

設定 → ユーザー設定 に移動し、マルチユーザー設定を有効にすると、デバイスのアカウントを管理できます。

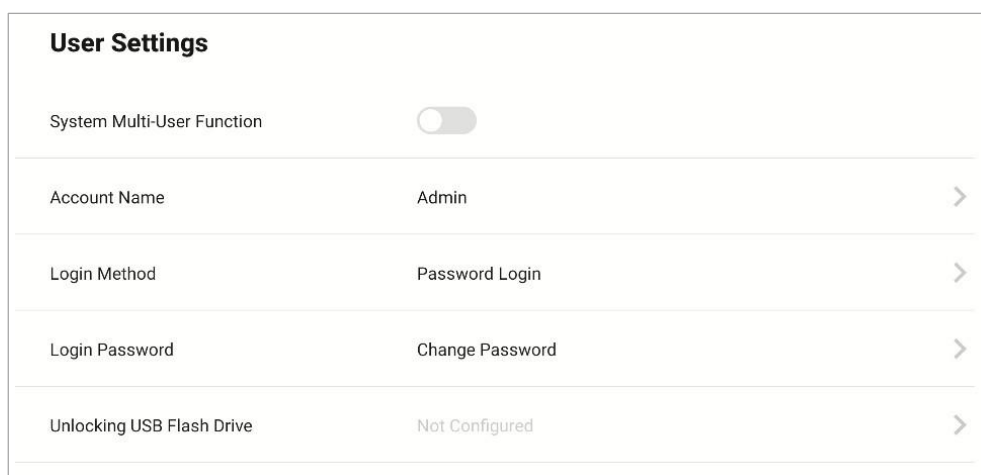


Figure 6-15 ユーザー設定

Table 6-2 アイコン 説明

アイコン	説明
	アカウントを追加します。 アカウント名を64文字以内で設定します。パスワードを4～6桁で設定します。
	アカウントを切り替えます。対応するアカウントのパスワードを入力してログインします。
	アカウント情報を編集する。
	アカウントのパスワードを編集する。
	アカウントを削除します。このアカウントのデータはデバイスからも削除されます。

USBフラッシュディスクのロック解除

USBフラッシュドライブによるログイン方法を設定するにはタップしてください。設定後、USBフラッシュドライブを挿入するだけで直接ログインできます。

手順

Step 1 USBフラッシュディスクのロック解除をタップします。

Step 2 ログインパスワードを入力し、USBフラッシュドライブを1台挿入してください。

 **Note**

- 一般ユーザーがパスワードを忘れた場合は、管理者にお問い合わせください。
- 管理者がパスワードを忘れた場合は、USBフラッシュディスクによる解除を試みてください。
- 管理者ログインでは、パスワードによるログインの有無を設定できます。

Step 3 「ファイル生成」をクリックしてください。デバイスが自動的にUSBフラッシュドライブ内にアンロックファイルを生成します。ファイル生成後は、次回からUSBフラッシュドライブを直接挿入するだけで簡単にログインできます。



Figure 6-16 アンロック用USBフラッシュドライブの接続

6.11 デバイス情報

設定 → 端末情報 で端末情報を確認できます。端末名はカスタマイズ可能で、デフォルト設定に復元することもできます。

 **Caution**

設定をデフォルト状態に復元すると、すべてのデータが失われます。

6.12 ネガティブ画面

画面の左側から右側にスライドすると、デバイスのステータスやシステムヘルプを表示できるネガティブスクリーンが表示されます。

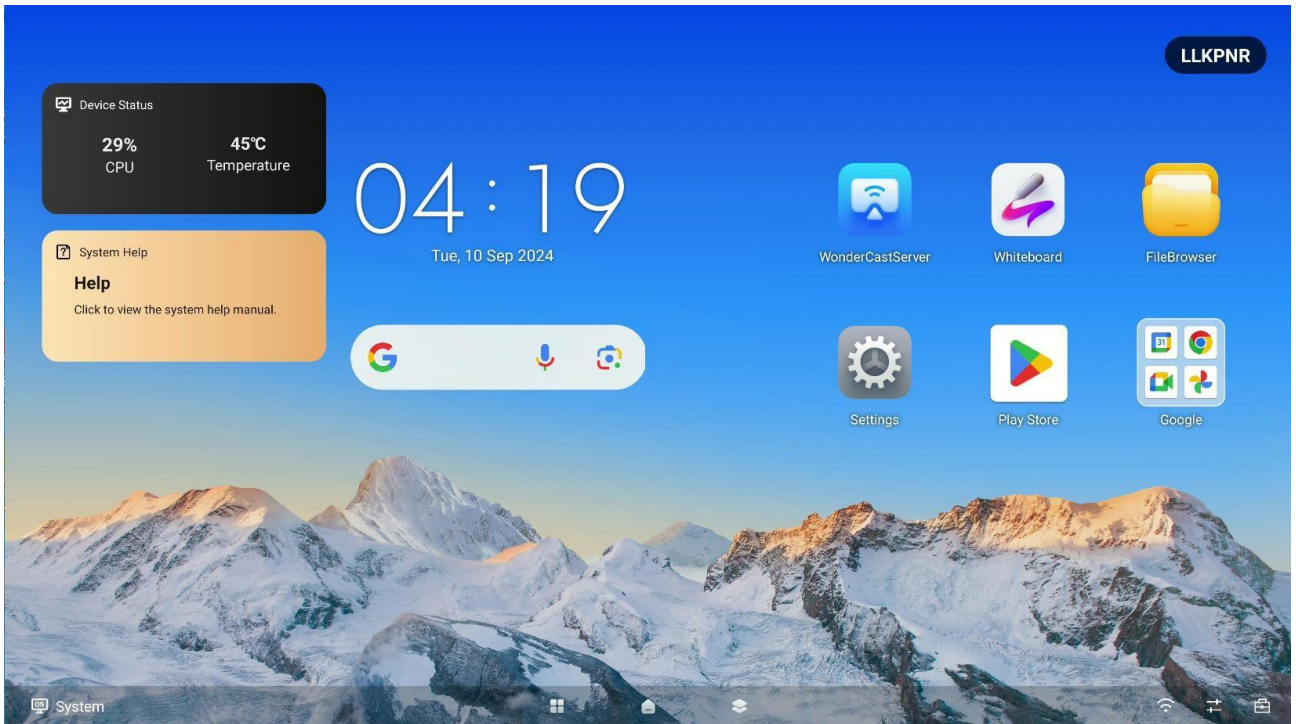


Figure 6-17 ネガティブ画面

第7章 インテリジェントアプリケーション

7.1 ファイルブラウザ

メインページで「ファイルブラウザ」をタップします。デフォルトでは、現在のディレクトリにあるすべてのファイルが表示されます。「画像」、「ドキュメント」、「A/V」、「インストールパッケージ」をタップして、指定したファイルを表示します。

アイコンは以下の通り説明されています。

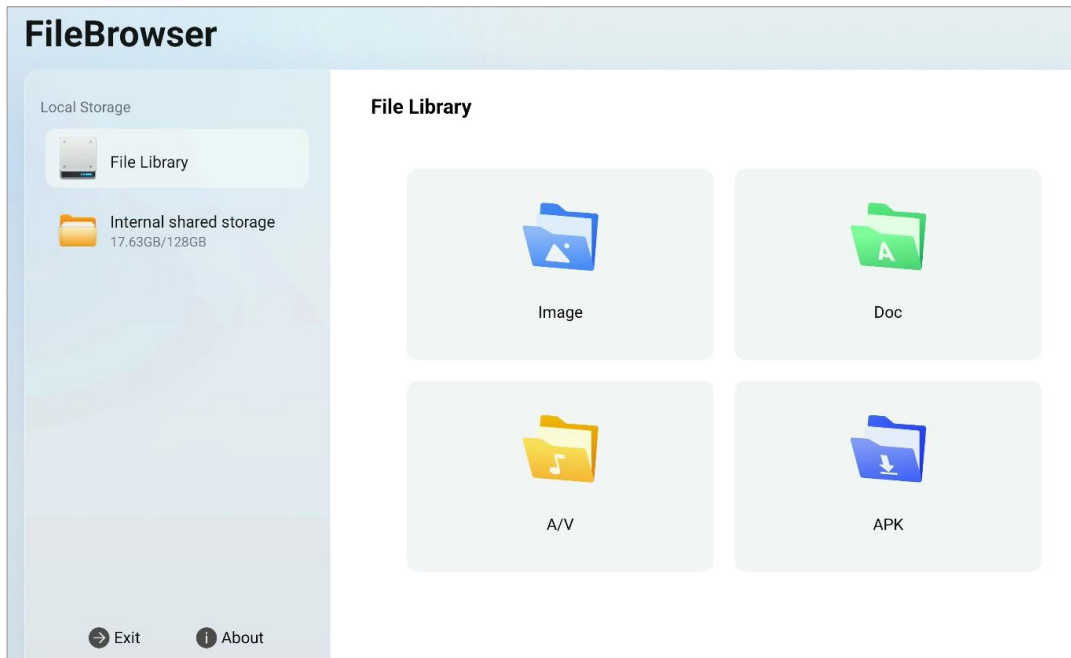



Figure 7-1 ファイル管理

Table 7-1 ファイル管理アイコンの説明

アイコン	説明	アイコン	説明
戻る/進む	前のページ/次のページへ移動します。	新規作成	新しいフォルダを作成します。
グリッド/リスト	ファイルをグリッドまたはリストモードで表示します。	並べ替え	ファイルの順序を変更します。
編集	ファイルを編集します。	-	-

 をクリックして文書を編集します。その他の機能は以下の通りです。

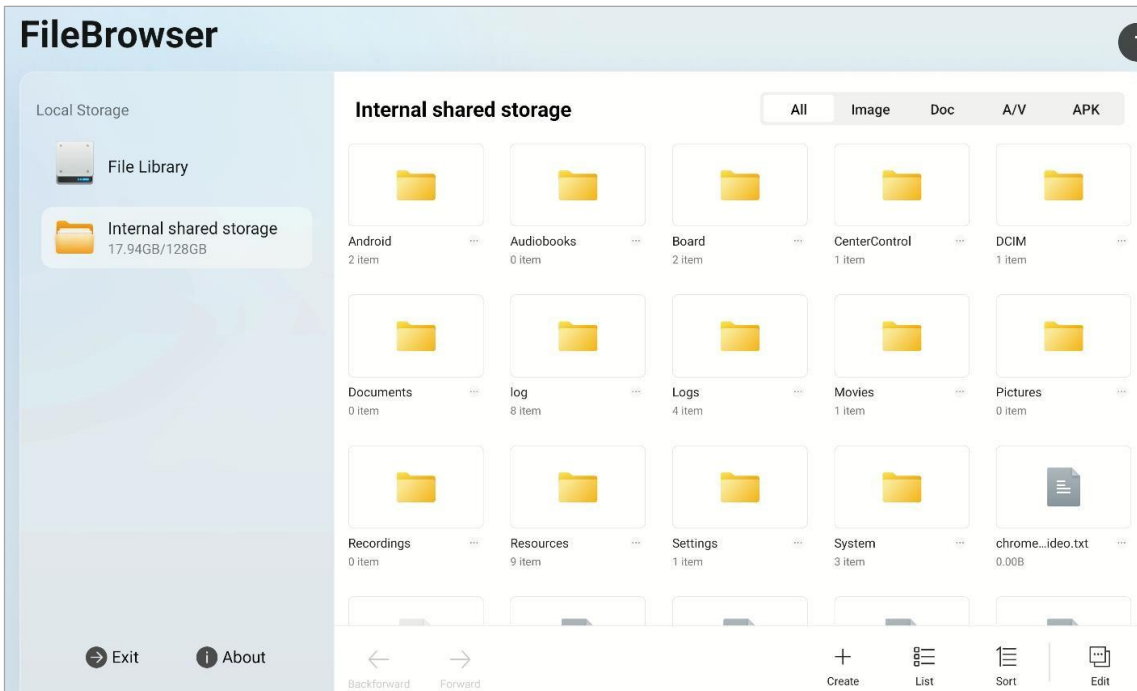


Figure 7-2 ファイルを編集する

Table 7-2 編集アイコンの説明

アイコン	説明	アイコン	説明
すべて選択	すべてのファイルを選択します。	コピー	選択したファイルを別のフォルダにコピーします。
移動	選択したファイルを別のフォルダに移動します。	削除	選択したファイルを削除します。
共有	選択したファイルを共有します。		

Note

ファイルを長押しして他の操作を実行します。

7.2 ブラウザ

デバイスをインターネットに接続し、「**ブラウザ**」をタップします。アドレスバーにURLを入力すると、インターネット上のテキスト、画像、音声、動画を閲覧できます。

7.3 ホワイトボード

ホワイトボードは、タッチ書き込み、画像挿入、コンテンツ共有などの機能を統合した編集ソフトウェアです。ユーザーは、タッチ書き込み、消去、

ページ切り替え操作が可能です。画像のインポートと編集をサポートし、ホワイトボードコンテンツが完成したら、ローカルに保存するかメールで共有できます。


7.3.1 Toolbar Basic Operation

ツールバーを使用すると、ホワイトボード上で書き込み、消去、選択、復元/取り消し、その他の操作を行うことができます。



Figure 7-3 ツールバー

書き込み

書き込み機能は、ホワイトボードに書き込むために使用します。ツールバーの「」をタップすると、ブラシの種類、色、太さなどのパラメータを調整できます。

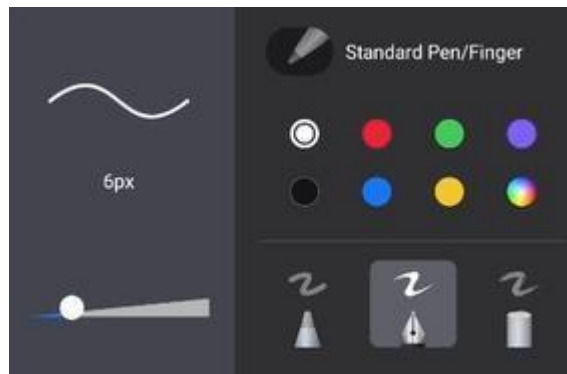









Figure 7-4 書き込みパラメータの設定






消去

消去機能は、ホワイトボードに書かれた内容を消去するために使用します。ツールバーの「」をタップすると、以下の操作を選択できます：

- 部分消去：をタップし、消去したい領域上で消しゴムをクリック&ドラッグすると、覆った領域の内容が消去されます。スライダーをスライドさせて消しゴムのサイズを調整することも可能です。
- 円形消去：をタップし、削除したい領域を円形に囲みます。円内をタッチした軌跡の内容が削除されます。
- すべて消去：をタップすると、現在のホワイトボードページに書かれた内容をすべて消去します。
- ジェスチャー消去：手のひらまたは手の甲を画面に接触させると、大規模な消去操作を実行できます。

円形選択

タップ ツールバーの「選択範囲の編集」をクリックすると、任意の形状の領域（）または矩形領域（）を囲み、その領域内の内容を編集できます。



- : 選択領域内の線の色を一律に変更します。
- : 選択領域内の内容を削除します。
- : 選択領域内の内容をロックします。領域を長押しするか、 をタップするとロックを解除できます。
- : 領域内の内容をコピーします。

Note


- 選択領域内のコンテンツのサイズ変更、移動、回転をサポートします。
- 選択範囲の外側をタップすると、選択範囲が解除されます。

元に戻す / やり直し

誤って書き込んだり消去したりした場合、元に戻すツールを使用して操作を元に戻せます。

- : 最後の操作を元に戻すにはクリックしてください；
- : クリックすると前の操作をやり直します。

7.3.2 More Tools

ツールバーの「」をタップすると、以下のツールが表示されます：

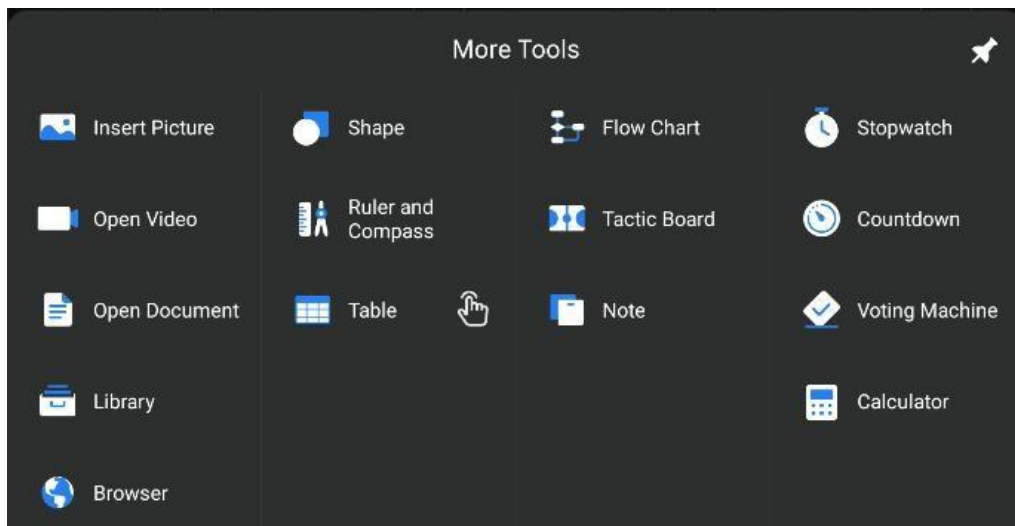




















Figure 7-5 その他のツール

Table 7-3 ツール説明

アイコン	名前	説明
	図形	2Dおよび3D形状を挿入します。
	定規とコンパス	定規、分度器、三角定規、コンパスを使用します。ドラッグしてサイズと角度を調整します。
	表	<ul style="list-style-type: none"> ● 表を挿入します。 ● 表を長押しして行や列を追加/削除します； ● 表をドラッグして移動またはサイズ変更； ● 表をタップして、表内の文字の色を変更します。 ●  をクリックし、形状認識を有効にします。水平線や垂直線を描画することでテーブル認識をトリガーできます。
	フローチャート	<ul style="list-style-type: none"> ● ホワイトボード上でフローチャートを描くために、様々な図形や線を選択できます。 ●  をクリックして図形バーを固定します。
	戦術ボード	タップしてバスケットボール戦術ボードを作成。
	メモ	メモを挿入します。メモの移動、サイズ変更、コピー、色の変更をサポートします。
	ストップウォッチ	ストップウォッチを開きます。
	カウントダウン	カウントダウンを開始します。
	投票機	投票機を開く。
	電卓	電卓を開く。
	画像を挿入	画像を挿入した後、画像をロック、サイズ変更、移動、回転、削除したり、その領域に書かれた内容の色を変更したりすることができます。
	ビデオを開く	動画ファイルを再生します。
	ドキュメントを開く	PPT、PPTX、DOC、DOCX、PDF形式の文書を開いて表示します。
	ライブラリ	タップして画像や動画を検索し、挿入します。
	ブラウザ	ホワイトボードの横でブラウザを呼び出します。

 **Note**

-  をクリックするとサイドバーが表示されます。

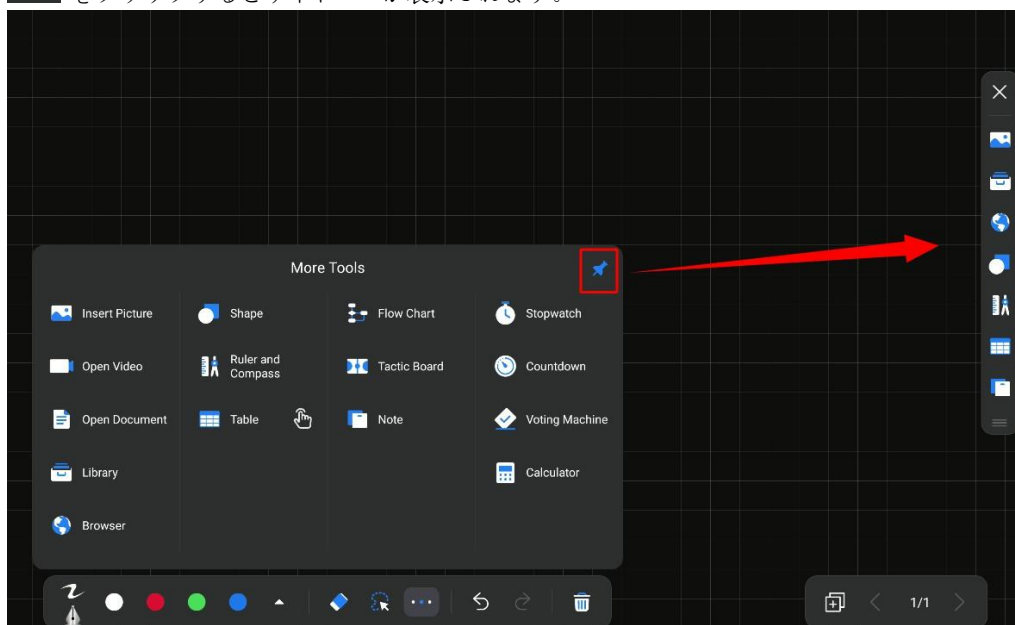


Figure 7-6 ツールサイドバー

- 図形や表の任意の角で線を描くと、その方向へ拡大できます。

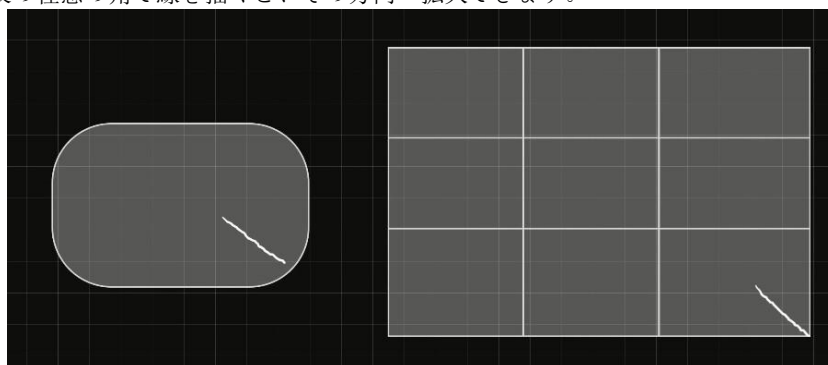





Figure 7-7 図形と表の拡大

- ライブラリとブラウザは、ホワイトボードアプリケーションが全画面表示の場合にのみサポートされます。
戦術ボード

- 1) 「」をタップして戦術ボードを作成します。「」を移動してプレイヤーの位置を変更します。
- 2) 右下隅の「」を有効にすると、選手に線を引くことができます。線の種類が表示され、選択できます。

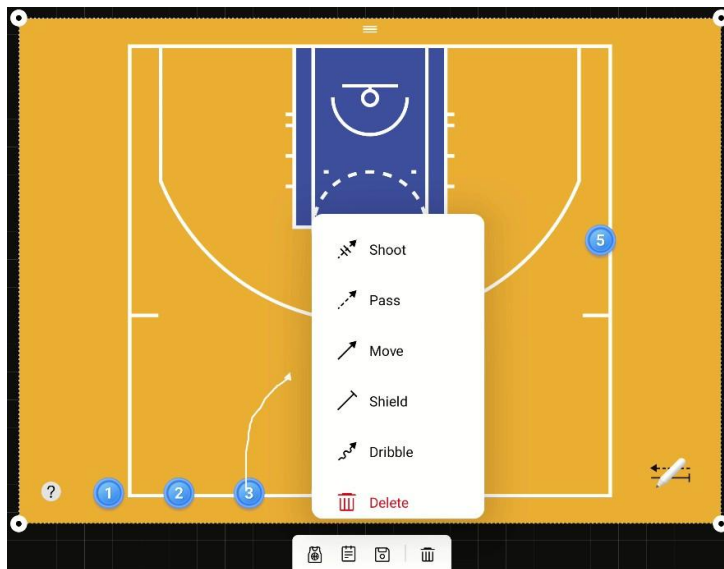




Figure 7-8 線種を選択

- 3) プレイヤー数を選択するには、 をクリックしてください。戦術を選択するには、 をクリックしてください。

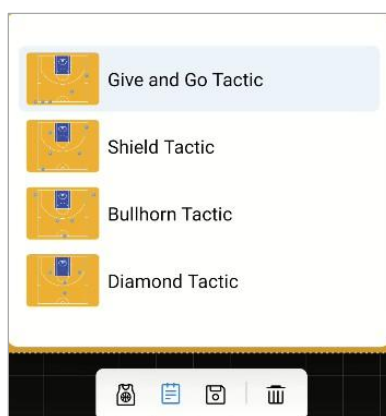





Figure 7-9 戦術の選択

- 4) ボード上に独自の戦術を描き、 をクリックして戦術名を付けて保存します。保存した戦術は  で確認できます。
- 5) 左下の「」をクリックすると機能ガイドが表示されます。

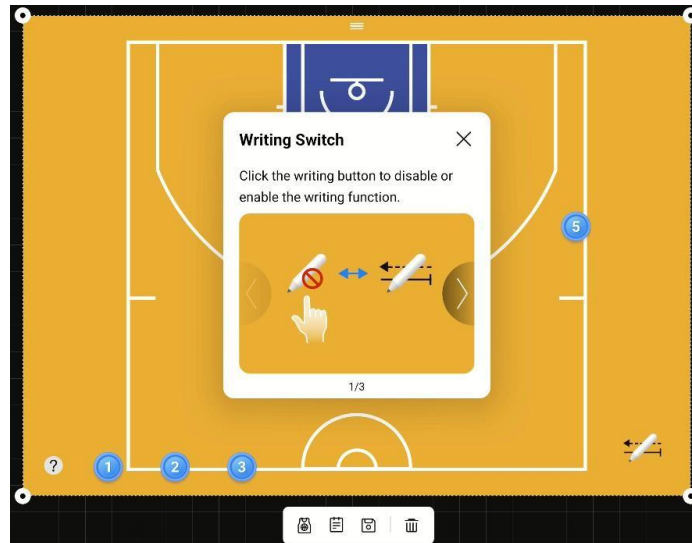








Figure 7-10 機能ガイド

7.3.3 Manage Whiteboard

新しいホワイトボードの作成、ホワイトボードの切り替え、ホワイトボードの削除が可能です。

Table 7-4 機能の説明


機能	説明
ホワイトボードの追加	右下の「  」をタップしてホワイトボードページを追加します。
ホワイトボードを切り替える	 /  をタップしてホワイトボードのページを切り替えます。
ホワイトボードのドラッグ	1枚のホワイトボードは無限に大きく、5本の指でホワイトボードページを上下左右にドラッグして書き込みスペースを拡張できます。
ホワイトボードの表示	ページ番号エリアの「  」をタップすると、ホワイトボードページのサムネイルが表示されます。サムネイルを上下にスワイプし、ページをタップすると表示中のページにジャンプします。
ホワイトボード削除	ページ番号領域の「  」をタップし、ページ右下の「  」をタップすると、そのページを削除できます。

Note

ホワイトボードを閉じると、すべての情報がリセットされます。

7.3.4 Save Whiteboard

ホワイトボードの内容が完成したら、参照用にデバイスにローカル保存したり、他の人と共有したりできます。

Step 1 ホワイトボードの左下にある「」をタップしてください。

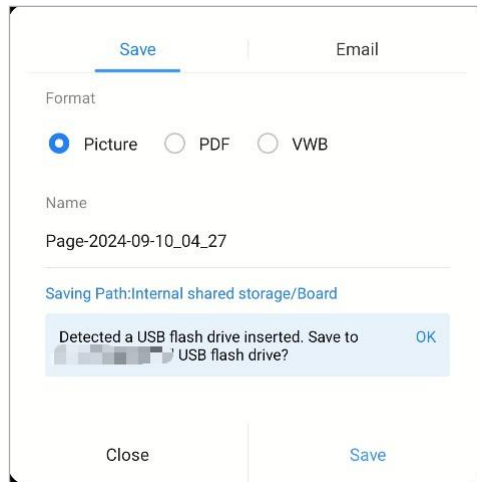


Figure 7-11 ホワイトボードを保存

Step 2 保存形式を選択してください。

 **Note**


ボードをPNG形式の画像、PDF形式の文書、または編集可能なVWB形式のファイルとして保存できます。

Step 3 (任意) ボードの名前を編集します。 **Step 4** 「保存」をタップします。

7.3.5 Share Whiteboard

ユーザーは、メールやQRコードでホワイトボードを他の人と共有できます。


メールで共有

ホワイトボードの左下にある「」をタップし、「メール」を選択します。

 **Note**

開始前にメールサーバーが設定されていることを確認してください。

QRコードで共有

左下の「」をタップすると、インターネットにアクセスできるモバイルデバイス、またはインタラクティブフラットパネルと同じ LAN 内のモバイルデバイスがコードをスキャンしてホワイトボードのコンテンツをダウンロードできます。

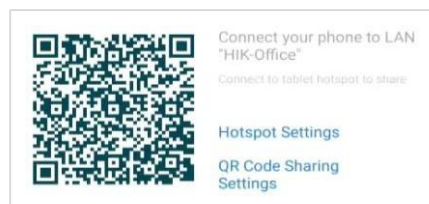



Figure 7-12 QRコードで共有

7.3.6 More Functions

ホワイトボードの左下隅にある「」をタップすると、画面分割書き込みや2色書き込みなどの機能を利用できます。

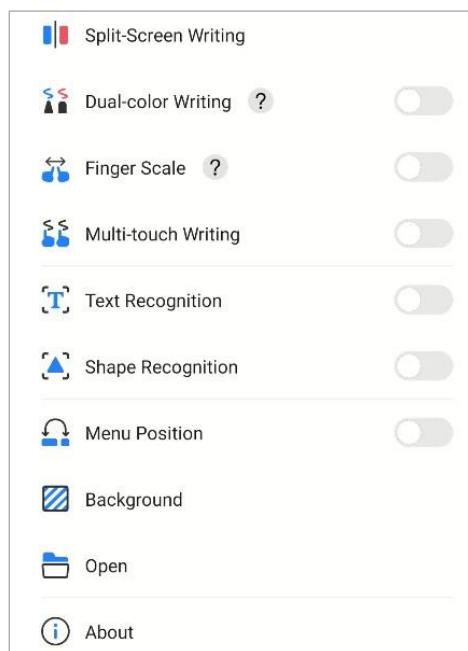





Figure 7-13 その他の機能

分割画面書き込み

分割画面でのホワイトボード同時書き込みをサポートします。

-  または  をタップすると、2画面または3画面表示を切り替えられます。
-  をタップすると分割画面モードを終了します。


Note

分割画面の数を変更したり、分割画面での書き込みを終了したりすると、現在の内容は保存されません。


デュアルカラー書き込み

有効化後、筆記ペンの先端と尾部に異なる色を選択できます。

Note

- ストロークサポートを長押しすると、ペンの閾値を調整できます。
-  をクリックすると、機能ガイドが表示されます。

指スケール

有効化後、指でページを拡大 縮小できます。機能ガイドは  をクリックしてご覧ください。

マルチタッチ書き込み

有効化後、ホワイトボードはマルチフィンガータッチに対応し、複数の指で同時にホワイトボードを編集できるようになります。

手書き文字認識

有効化すると、ホワイトボードは描かれた文字を認識し、通常の文字に修正することができます。

図形認識

有効化後、ホワイトボードは描かれた図形を認識し、標準的な図形に修正します。



- 認識可能な形状には、円、三角形、長方形、および線が含まれます。
- テキスト認識と形状認識は同時起動をサポートしていません。

メニュー位置

有効にすると、ホワイトボードの左側のメニューと右側のページ番号が入れ替わり、機能アイコンやメニューに簡単にアクセスできるようになります。

背景

ホワイトボードの背景と陰影を設定し、必要に応じてホワイトボードの背景スタイルをカスタマイズできます。

開く

VWB形式で保存されたホワイトボードファイルを開き、再度編集できます。

について

現在のバージョンとオープンソース契約を確認する。

7.4 WonderCastServer

7.4.1 NFC Screen Mirroring

NFC 機能付き Android スマートフォンは、その画面をインタラクティブフラットパネルにミラーリングすることができます（スマートフォンに WonderCast がインストールされ、NFC が有効になっている場合のみ）。

Step 1 携帯電話とディスプレイを同じ LAN に接続するか、携帯電話をディスプレイのホットスポットに接続してください。

Step 2 スマートフォンの背面をインタラクティブフラットパネルの NFC エリアに貼り付け、スマートフォンにプロンプトが表示されたら画面をミラーリングできます。

7.4.2 Other Screen Mirroring

インタラクティブフラットパネルにPCやスマートフォンの画面をミラーリングしたり、PCやスマートフォンからフラットパネルを操作できます。WonderCastServerの詳細については、以下のQRコードをスキャンしてください。



Figure 7-14 WonderCastServer

7.5 システムプリインストールアプリケーション

以下の表は、システムにプリインストールされているアプリケーションの概要です。詳細については、各アプリケーションのヘルプドキュメントを参照してください。

Note

システムにプリインストールされているアプリケーションは、デバイスタイプによって異なります。

Table 7-5 システムプリインストールアプリケーションの紹介

アプリケーション	概要
ホワイトボード	描画や書き込みに使用します。コンテンツの保存、移動、拡大、縮小、削除、ダウンロードが可能です。
ファイルブラウザ	ファイルを管理する。
ブラウザ	デバイスがネットワークに接続されると、ブラウザを通じてインターネット情報を閲覧できます。
ギャラリー	SDカードやUSBディスク内の画像を表示するために使用します。
アップグレード	リモートアップグレード、ローカルアップグレード、およびローカルコンポーネントのアップグレードを提供します。
WonderCastServer	フラットパネル、携帯電話、PCを接続して画面ミラーリングを行うアプリケーションです。
カメラ	カメラによる撮影に使用されます。
Ark	集中管理プラットフォームとの連携に使用され、プラットフォームを介してデバイスをリモート管理（ファイル送信やリモートアップグレードなど）できるようにします。

FocSign Player	デジタルサイネージにプログラムやスケジュールを公開するために使用されます。
Google Playストア	デバイスがアプリ、ゲーム、書籍、映画、その他のエンターテインメントコンテンツを検索・ダウンロードするためのマーケットプレイスです。
Google マップ	世界中の地理的地域や場所に関する詳細な情報を提供します。
Googleフォト	写真や動画のライブラリ全体を無料でバックアップするサービスです。
Google ドライブ	ファイルをオンラインでアップロード、同期、共有できるクラウドストレージサービスです。
Google TV	ストリーミングアプリ、ライブTV、パーソナライズされたおすすめを1つの統合されたユーザーインターフェースで組み合わせたプラットフォームです。
Google Chrome	Googleが開発した無料のウェブブラウザで、インターネット上のウェブページにアクセスするために使用されます。
Gmail	Googleが提供する無料サービスで、ユーザーがインターネット経由で電子メールを送受信できるようにします。
Google	Googleが提供する検索エンジンです。
Google Meet	ビデオ会議サービスです。
YouTube	動画共有のためのソーシャルメディアプラットフォームおよびウェブサイトです。
YouTube Music	Googleが提供する音楽ストリーミングサービスです。
Googleカレンダー	Googleが開発した時間管理・スケジュール管理ツールです。

第8章 付録A よくある質問

質問	原因と解決策
なぜ画面に結露が頻繁に発生するのですか？	外側の画面には保護のため強化ガラスが取り付けられています。画面と強化ガラスの間には空気対流のための隙間があります。主な原因は、画面と外部の間に温度差があることです。高温の空気が低温のガラス表面で結露し、水滴が発生します。結露はデバイス起動後に蒸発し、使用には影響しません。
接続後、ノートパソコンから音が出ないのはなぜですか？	オーディオケーブルのみ接続した場合、音声出力と映像出力の両方が利用できません。 <ul style="list-style-type: none"> ● HDMIケーブルを接続してください。 ● Windowsでデバイスをオーディオ出力デバイスとして選択してください。
使用后しばらくすると画面が熱くなるのはなぜですか？	画面の温度上昇は放熱によるもので、完全に正常な現象です。当社の放熱設計は業界をリードするもので、業界標準の策定者であり、国家健康基準に準拠しています。
長時間の使用は目に悪影響を与えますか？	人間の目が認識できるフリッカーの周波数は50Hzです。周波数が50Hz未満の場合、フリッカーが認識され、眼筋の疲労を引き起こします。当社製品は60Hzの液晶画面を採用しているため、人間の目は画面のフリッカーを認識しません。同種の他社製品と比較して、眼精疲労を大幅に軽減できます。
画面に映像が表示されず、機器から音も出ないのはなぜですか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源ケーブルが接続されているか確認してください。 ● コンセントが正常に作動しているか確認してください。 ● 電源スイッチがオンになっているか確認してください。
デバイスのHDMIチャンネルに入力信号がないのはなぜですか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 入力ソースが正常に動作しているか確認してください。 ● HDMIインターフェースまたはケーブルを変更してください。 ● PCにアクセスする場合は、PCでHDMI出力を設定してください。
有線ネットワークが不安定なのはなぜですか？	自動ネットワーク検出オプションを無効にしてみてください。



遠くを見据え、さらに遠くへ